

令和 6 年度
事業報告書



社会福祉法人摂津宥和会

1	法人事務局	・ ・ ・ ・ ・	1
2	地域生活支援センター		
	Ⅰ 障害者支援施設「摂津市立みきの路」	・ ・ ・ ・ ・	18
	Ⅱ 共同生活援助（グループホーム）	・ ・ ・ ・ ・	37
3	摂津市立児童発達支援センター		
	Ⅰ 児童発達支援センター「つくし園」	・ ・ ・ ・ ・	48
	Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」	・ ・ ・ ・ ・	60
4	多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」	・ ・ ・ ・ ・	66
5	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	・ ・ ・ ・ ・	83
6	摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」	・ ・ ・ ・ ・	92
7	摂津市立第1児童センター	・ ・ ・ ・ ・	105
8	摂津市障害者総合支援センター		
	Ⅰ 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」	・ ・ ・ ・ ・	116
	Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	・ ・ ・ ・ ・	123

(参考資料)

1 法人事務局

1 概況

令和6年度は、理事会を2回、評議員会を1回、監事監査を1回開催した。
法人事務局として、以下3点について重点的に取り組んだ。

(1) 新卒採用の取り組み

令和5年6月からの2025年卒採用活動における様々な取り組みの結果、4名の学生に対して採用内定を出し、うち3名の学生が内定を受諾した。令和6年9月より、学生目線での新卒採用活動を実施していくことを目的として、若手職員5名と採用担当1名で構成する「新卒採用プロジェクトチーム」を発足させ、若手職員の意見を取り入れながら、新卒採用全般に関する企画・運営を行った。さらに、摂津市が主催する新規採用職員研修及び職員研修について、必要に応じて当法人の職員も受講した。

(2) 職場環境の整備

福祉業界では深刻な人材不足を背景に、給与水準の改善が継続的に進められている。当法人でも給与ベースアップのために、全職員を対象とした説明会を実施し、給与規則の改正を行った。ハラスメント予防及び防止のため、ハラスメントアンケートを実施して、働きやすい職場環境作りに努めた。令和7年度4月に施行される「育児・介護休業法の改正」に向けて、全職員向けにオンラインでの説明会を実施した。

(3) 非常災害対策の強化

令和6年度の義務化に伴い、全施設に対して事業継続計画（BCP）の確認を行い、法人全体での危機管理体制の構築に向けて取り組んだ。「みきの路」と「ふれあいの里」2カ所の福祉避難所の運営については、摂津市防災危機管理課との意見交換を行い、災害時の職員参集調査を実施し、福祉避難所の体制整備を図った。感染対策についても義務化されたことを受けて、法人として看護師（みきの路）による研修会を実施して、法人及び各施設での感染対策の強化に努めた。

2 事業の実施状況

(1) 理事会の開催

(人)

回	開催日	議案	出席者
1	5月29日	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 令和5年度事業報告承認 4 令和5年度収支決算承認 5 評議員選任・解任委員選任 6 令和6年度第1回定時評議員会開催	理事 6 監事 2

2	3月27日	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 令和6年度補正予算(第1号及び第2号)専決処分報告 4 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 5 経理規則の一部を改正する規則制定 6 役員賠償責任保険契約締結 7 令和7年度指定管理者年度協定書締結 8 令和7年度事業計画承認 9 令和7年度収支予算承認 10 施設長選任	理事 6 監事 2
---	-------	---	--------------

(2) 評議員会の開催

(人)

回	開催日	議案	出席者
1	6月21日	1 令和6年度第1回理事会の議事 2 令和5年度収支決算承認 3 定款一部改正	評議員 6 理事 6 監事 2

(3) 監事監査の実施

(人)

実施日	監査内容	出席者
5月20日	1 令和5年度事業報告	監事 1
5月22日	2 令和5年度計算書類及び財産目録	監事 1

(4) 行政監査の実施

実施日	内容
1月24日	児童福祉法第46条の規定に基づく指導監査 (監査対象：摂津市立第1児童センター)

(5) 施設連絡会の開催

(人)

開催日	開催方法	主な内容	出席者
4月3日	対面	各施設の近況報告 新年度施設連絡会の体制について 他	14
4月24日	オンライン	各施設の近況報告 スポーツフェスタ2024プロジェクトチーム 他	14
5月8日	対面	各施設の近況報告 定額減税について 他	14
5月22日	オンライン	各施設の近況報告 予算管理について他	14

6 月 12 日	対面	各施設の近況報告 虐待防止研修の実施について 他	14
6 月 26 日	オンライン	各施設の近況報告 令和 5 年度決算について 他	14
7 月 10 日	対面	各施設の近況報告 令和 7 年度当初予算ヒアリングについて 他	14
7 月 24 日	オンライン	各施設の近況報告 令和 7 年度当初予算の提出について 他	14
8 月 14 日	対面	各施設の近況報告 新卒採用プロジェクトチームについて 他	14
8 月 28 日	オンライン	各施設の近況報告 台風 10 号への備えについて 他	14
9 月 11 日	対面	各施設の近況報告 勤怠・給与・人事管理システムについて 他	14
9 月 25 日	オンライン	各施設の近況報告 下半期の人事考課について 他	14
10 月 9 日	対面	各施設の近況報告 災害時の職員参集体制について 他	14
10 月 23 日	オンライン	各施設の近況報告 令和 6 年度人権研修実施について 他	14
11 月 13 日	対面	各施設の近況報告 令和 6 年年末調整について 他	14
11 月 27 日	オンライン	各施設の近況報告 「スポーツフェスタ 2024」について 他	14
12 月 11 日	対面	各施設の近況報告 1 月以降の施設連絡会の進め方について 他	14
12 月 25 日	オンライン	各施設の近況報告 年末年始の緊急連絡体制について 他	13
1 月 8 日	対面	各施設の近況報告 令和 6 年度決算までのスケジュール 他	14
1 月 22 日	オンライン	各施設の近況報告 感染症対策委員会について 他	14
2 月 12 日	対面	各施設の近況報告 令和 6 年度事業発表会について 他	14
2 月 26 日	オンライン	各施設の近況報告 「FUKUSHI meets !」実績報告 他	14
3 月 12 日	対面	各施設の近況報告 令和 7 年 4 月 1 日付規則等改正 他	14

3月26日	〃	各施設の近況報告 令和7年4月1日付人事異動 他	14
-------	---	-----------------------------	----

○施設長会況報

1月から新たな取り組みとして、第二水曜日の施設連絡会前に施設長会を開催した。

会議名	回数	目的・内容
施設長会	1回/月	施設間の意見交換と課題について協議

(6) スポーツフェスタ 2024 の開催

利用者が身近な地域で「いつでも、どこでも、だれでも」自分に合った形で運動及びレクリエーションに親しみ、スポーツを通じて健康で元気な生活を送ることを目指す取り組みの一環として、関係団体やボランティアとの協働のもと、以下の通り開催した。

開催日時	令和6年11月30日(土) 13:00~16:00		
場所	摂津市立味舌体育館		
参加者数	利用者：80名 ボランティア：46名	職員：97名 来賓：27名	(合計) 250名

(7) 事業発表会の開催

当法人の専門性や経験を情報発信することにより、地域の福祉を担う人材育成や体制の確保等、地域福祉の向上につながることを目的として、以下の通り開催した。

開催日時	令和7年3月15日(土) 13:00~17:00		
場所	摂津市立コミュニティプラザ		
参加者数	職員：69名 摂津市担当部課：3名 関係機関：8名	新卒採用内定者：3名 理事・監事・評議員：4名	(合計) 87名
内容	1.基調講演 ・テーマ：「ハローワーク茨木と障害者雇用の取組について」 ・講師：ハローワーク茨木 専門援助部門 統括職業指導官 戸板 伸也 氏 2.基調講演 ・テーマ：「障害者雇用で働く準備と働き方」 ・講師：クボタインクルージョンワークス株式会社 枚方オフィス 副所長 羽根 忍 氏 3.実践報告 ・事例発表：①茨木・摂津障害者就業・生活支援センター ②摂津市立ひびきはばたき園 ③摂津市障害者職業能力開発センター		

3 情報公開

(1) 財務諸表等電子開示システム

社会福祉法第 59 条の規定に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を通じて、令和 5 年度の計算書類等及び財産目録等、現況報告書を公開している。

(2) 障害福祉サービス等情報公開システム

障害福祉サービス情報公開制度に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人の運営する障害福祉サービスの内容について公開している。

(3) ホームページでの情報公開

社会福祉法第 59 条の 2 の規定に基づき、法人ホームページにおいて、定款、役員等名簿、役員等報酬規程、事業計画書、事業報告書、計算書類、財産目録、現況報告書、監事監査報告書を公開している。

4 人材確保に向けた取り組み

(1) 2025 年卒採用に向けた取り組み

① 採用説明会・施設見学の実施

「対面」と「オンライン」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。また、希望する学生に対し、施設見学も併せて実施した。

(人)

実施日	実施方法	施設見学	参加学生数
5 月 13 日	対面	ひびきはばたき園	1
5 月 16 日	オンライン	児童発達支援センター	1
6 月 3 日	対面	〃	1
6 月 21 日	オンライン	(見学なし)	1
6 月 25 日	対面	児童発達支援センター	1
7 月 9 日	〃	〃	1
7 月 12 日	〃	ひびきはばたき園 児童発達支援センター	1
7 月 24 日	〃	ひびきはばたき園	1
8 月 29 日	〃	児童発達支援センター	1

② 広報活動

「マイナビ 2025」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて学生からのエントリーや採用説明会の予約受付をした。

③ 内定式の開催

入職意識を高め、法人への理解を深める場とすることを目的として、2025 年度新卒採用職員 3 名の内定式を実施した。

(内定式)		(人)
実施日	内 容	参加学生数
10 月 28 日	内定証書授与 若手職員との懇談会 施設見学 入職までの流れについての説明	2
1 月 31 日	内定者懇談会 内定証書授与 (1) 施設見学 (1) 入職までの流れについての説明 (1)	3

④ 2025 年卒採用活動実績

内 容	(人)
インターンシップ（施設見学）参加学生数	5
令和 5 年 10 月 21 日開催 「マイナビ福祉・介護業界仕事研究インターンシップフェア」 ブース来訪学生数	19
令和 6 年 3 月 4 日開催 「マイナビ福祉・介護業界就職フェア」ブース来訪学生数	6
採用説明会参加学生数	11
採用試験応募学生数	4
採用内定学生数	4
採用内定受諾学生数	3

(2) 2026 年卒採用に向けた取り組み

① 新卒採用プロジェクトチーム

学生目線での新卒採用活動を実施していくことを目的として、令和 6 年 9 月より、若手職員 5 名と採用担当 1 名で構成する「新卒採用プロジェクトチーム」を発足させ、若手職員の意見を取り入れながら、新卒採用全般に関する企画・運営を行った。

実施日	主な内容
9月24日	今後の会議の進め方、スケジュール 現在の新卒採用活動状況について
10月11日	現在の新卒採用活動の改善点等について
11月11日	2026年卒採用活動の進め方について 「FUKUSHI meets!」出展に向けた準備
12月26日	2026年卒採用状況について 「FUKUSHI meets!」出展に向けた準備
1月14日	〃
2月3日	〃
3月24日	2026年卒採用状況について 「FUKUSHI meets!」振り返り

② 合同説明会への参加

開催日	内容
10月19日	「マイナビインターンシップ&キャリア発見フェア福祉・介護」 ・主催：株式会社マイナビ ・場所：梅田スカイビルアウラホール ・当日参加職員：新卒採用プロジェクトチーム6名 ※ブース来訪学生数：15名
2月14日	「FUKUSHI meets! 福祉就職フェア」 ・主催：一般社団法人FACE to FUKUSHI ・場所：グランフロント大阪 ・当日参加職員：新卒採用プロジェクトチーム6名 ※ブース来訪学生数：27名

③ インターンシップ（施設見学）の実施

大学3年次から学生と接触していくため、施設見学を実施した。 (人)

実施日	実施内容	実施施設	参加学生数
12月6日	施設見学（対面）	児童発達支援センター	1
1月16日	〃	〃	1

④ 採用説明会・施設見学の実施

「対面」と「オンライン」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。また、希望する学生に対し、施設見学も併せて実施した。

(人)

実施日	実施方法	施設見学	参加学生数
2月28日	対面	児童発達支援センター	1
3月4日	〃	〃	2
3月7日	オンライン	(見学なし)	1
3月17日	〃	〃	1

⑤ 広報活動

- ・「マイナビ 2026 プレサイト」にインターンシップに関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からインターンシップの予約受付をした。
- ・「マイナビ 2026」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からのエントリーや採用説明会の予約受付をした。
- ・Instagram を通じて、学生向けに法人の魅力を発信した。

5 人材育成に向けた取り組み

(1) 摂津市主催研修の受講

摂津市が主催する職員研修について、必要に応じて当法人の職員が受講した。

(人)

開催日	内容	受講職員数
4月22日	ハラスメント研修	9
5月17日	新任課長級職員研修	9
6月22日	ロジカル伝達術研修	9
7月25日	ファシリテーション能力向上研修	5
8月19日	労務管理研修	14
12月17日	職員意識改革研修	8
1月24日	カスハラ対応研修	9

(2) 全体研修の実施

全職員を対象に、全体研修を以下の通り実施した。

(人)

実施日	内容	講師	受講職員数
6月4日 ～6日	障害者差別解消法について	内閣府	55

6月12日	発達障害研修① 「発達障害の基礎知識」	社会福祉法人北摂杉の子会 伊名岡 宏 氏 辻本 紗弥 氏	123
7月17日	発達障害研修② 「児童の事例と支援方法 について」	社会福祉法人北摂杉の子会 伊名岡 宏 氏 辻本 紗弥 氏 渡邊 佳奈 氏	101
8月5日	発達障害研修③ 「知的・成人の事例と支援 方法について」	社会福祉法人北摂杉の子会 小久保 杏那 氏 山田 優 氏 安田 麻美 氏	95
11月1日 ～ 11月29日	人権・同和問題企業啓発 講座	部落解放・人権研究所	114

(3) 法人事務局職員研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講した。

開催日	内容	場所	主催	参加者
9月24日	令和6年度会計管理者・ 担当者研修会	社会福祉指導 センター	大阪府社会福祉 協議会	事務員
12月9日	令和6年度社会福祉法人 会計実務者決算講座	オンライン開 催	全国社会福祉法 人経営者協議会	主任 事務員2

6 人材定着に向けた取り組み

(1) 新規採用職員研修

① 採用時研修

新規採用職員を対象として、採用時研修を実施した。

(人)

実施日	内 容	参加者
4月1日、2日	社会福祉職としての基礎知識 法人内施設見学 職員就業規則等について	5
5月1日	社会福祉職としての基礎知識 職員就業規則等について	1
9月2日	社会福祉職としての基礎知識 職員就業規則等について	2

10月16日	社会福祉職としての基礎知識 職員就業規則等について	1
--------	------------------------------	---

② 摂津市新規採用職員人権連続研修

令和6年度新卒採用職員2名が、摂津市新規採用職員人権連続研修を受講した。

(人)

開催日	テーマ	参加者
4月12日	人権に関する基礎知識①	2
5月22日	人権に関する基礎知識②	2
6月21日	女性と人権 現地研修	2
7月17日	平和と人権 現地研修	2
8月28日	子どもの人権	2
9月11日	高齢者と人権 現地研修	2
10月18日	同和問題 現地研修	2
11月22日	外国人と人権 現地研修	2
12月4日	障害のある人と人権	2
1月10日	ことばと差別、グループ人権課題研究	2
2月14日	グループ人権課題の研究発表	2

③ 新規採用職員日誌

- ・OJTの一環として、配属先の指導担当職員との3か月にわたる「新規採用職員日誌」への記入を通して、新規採用職員の指導に努めた。
- ・採用3か月後に、指導担当職員及び施設長との面談を実施した。

④ 摂津市新規採用職員研修

令和7年度新卒採用内定者3名が、摂津市新規採用職員研修を受講した。

(人)

開催日	テーマ	参加者
3月24日	オリエンテーション 応急手当講習 市の歴史、防災、財政	3
3月26日	仕事の進め方とコミュニケーション	3
3月28日	接遇研修	3

(2) 福利厚生事業

働きやすい職場づくりを目指し、福利厚生事業の充実に努めた。

職員健康診断	◎一次検診 ・実施日：7月29日～8月2日 ◎二次検診 ・実施日：10月22日、23日 ◎子宮がん検診 ・実施日：11月8日、18日 ◎夜勤従事職員健康診断 ・実施日：3月18日 ◎再検査の診断
大阪民間社会福祉事業従事者 共済会	一般給付金事業 生活サポートサービス 他
福利厚生センター (ソウェルクラブ)	慶事のお祝い 健康生活用品給付 他

(3) 働き方改革等への取り組み

①年次有給休暇

10日以上付与される全ての職員に対し、年5日、時季を指定して年次有給休暇を取得させた。

②給与規則の改定説明会

賃上げに伴う、全職員向けの説明会をオンラインで実施した。

③育児・介護休業法改正の説明会

令和7年4月から段階的に施行される育児・介護休業法改正について、全職員向けの説明会をオンラインで実施した。

7 地域における公益的な取り組み

社会福祉法第24条第2項の規定により、地域における公益的な取り組みの実施は、社会福祉法人の責務として位置づけられている。当法人では、地域から支えられる施設づくりを目指して、以下の取り組みを実施し、その内容をホームページやInstagramを通じて発信した。

(1) 「子ども食堂」の実施

- ・実施日：毎月1回
- ・場所：摂津市立別府コミュニティセンター
- ・定員：30名

※参加者：年間延べ 295 名

(人)

実施日	担当施設	職員数	参加児童数
4 月 26 日	全施設	12	28
5 月 24 日	児童発達支援センター、身老センター	11	25
6 月 28 日	法人事務局、ひびきはばたき園	11	25
7 月 26 日	せつつくすのき、第 1 児童センター、 障害者総合支援センター	10	26
9 月 27 日	児童発達支援センター、身老センター	13	27
10 月 25 日	法人事務局、ひびきはばたき園	13	27
11 月 29 日	せつつくすのき、第 1 児童センター、 障害者総合支援センター	12	28
12 月 13 日	みきの路、グループホーム	10	29
1 月 24 日	児童発達支援センター、身老センター	11	28
2 月 28 日	法人事務局、ひびきはばたき園	10	27
3 月 28 日	せつつくすのき、第 1 児童センター 障害者総合支援センター	12	25

(2) 社会貢献事業

大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置して、地域で課題を抱える方への支援を行った。

(3) 地域清掃活動

ふれあいの里の各施設（摂津市立ひびきはばたき園、摂津市立身体障害者・老人福祉センター、摂津市障害者職業能力開発センター）の職員が、定期的に周辺の清掃、ゴミ拾いなどを実施した。みきの路でも、利用者の日中活動として嘉門公園の清掃活動を実施した。

8 虐待防止・権利擁護

各施設で「虐待防止責任者」「虐待防止マネジャー」を選任し、法人全体で「虐待防止・身体拘束等適正化委員会」を設置・運営してきた。

(1) 虐待防止・身体拘束等適正化委員会の実施

(人)

開催日	主な内容	出席者
5 月 21 日	チェックリストまとめ、今後の取り組みについて	16

	事例報告（児童発達支援センター、グループホーム）	
1 月 22 日	チェックリストまとめ、今後の取り組みについて 大阪府虐待防止研修報告 虐待防止・身体拘束等適正化の取り組みについて	16

（２）虐待防止マネジャー会議

（人）

開催日	主な内容	出席者
5 月 21 日	身体拘束等適正化のための指針の確認 令和 6 年度実施計画について	7
11 月 12 日	職員向けチェックリストについて 身体拘束等適正化研修について 令和 7 年度年間予定について	7

（３）従事者に対する研修の実施

（人）

開催日	内容	講師	受講職員数
6 月 25 日 ～8 月 13 日	第 1 回動画で学ぶ！ 障害児者施設の虐待防止研修 ～より良い支援のために～	フェリアン 津村 薫 氏	117
12 月 16 日	虐待防止・不適切「支援」を 防ぐ組織管理	社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏	131

9 非常災害対策

災害（地震・洪水・感染症等）の際、法人各施設においては、特に配慮を要する利用者を対象としていることから、平時から研修・訓練・備蓄品管理等備えを万全とするため、利用者の安全確保を第一とした災害対策に取り組んだ。

「摂津市立ふれあいの里」及び「摂津市立みきの路」は、摂津市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結している。災害時には、地域の高齢者や障がい者等を受け入れ、安全安心に過ごせる避難所が運営できるように、災害用の備蓄品や備蓄食の整備等を行った。

（１）法人訓練

訓 練	回 数	目 的・内 容
安否確認訓練	2 回/年	全職員対象に、災害時を想定して安否確認メールの配信訓練を実施

参集訓練 (シミュレーション)	1 回/年	毎年、職員対象に災害時の参集調査を実施して、福祉避難所の運営及び各施設の B C P に活用
--------------------	-------	--

(2) 業務継続計画 (B C P) の研修及び訓練

障害福祉サービスについては、令和 6 年 4 月から、災害・感染症の業務継続計画を策定し、研修及び訓練が義務化された。施設種別により、研修・訓練の実施回数が規定されている。障害福祉サービス以外の施設も含めて、法人全施設において B C P を策定し、施設・事業所単位での研修及び訓練を基本としながら、内容及び状況等により法人単位で研修及び訓練を実施した。

施設名	研 修	訓 練 (シミュレーション)
みきの路 (施設入所支援)	年 2 回	年 2 回
その他施設	年 1 回	年 1 回

(3) 感染対策の強化

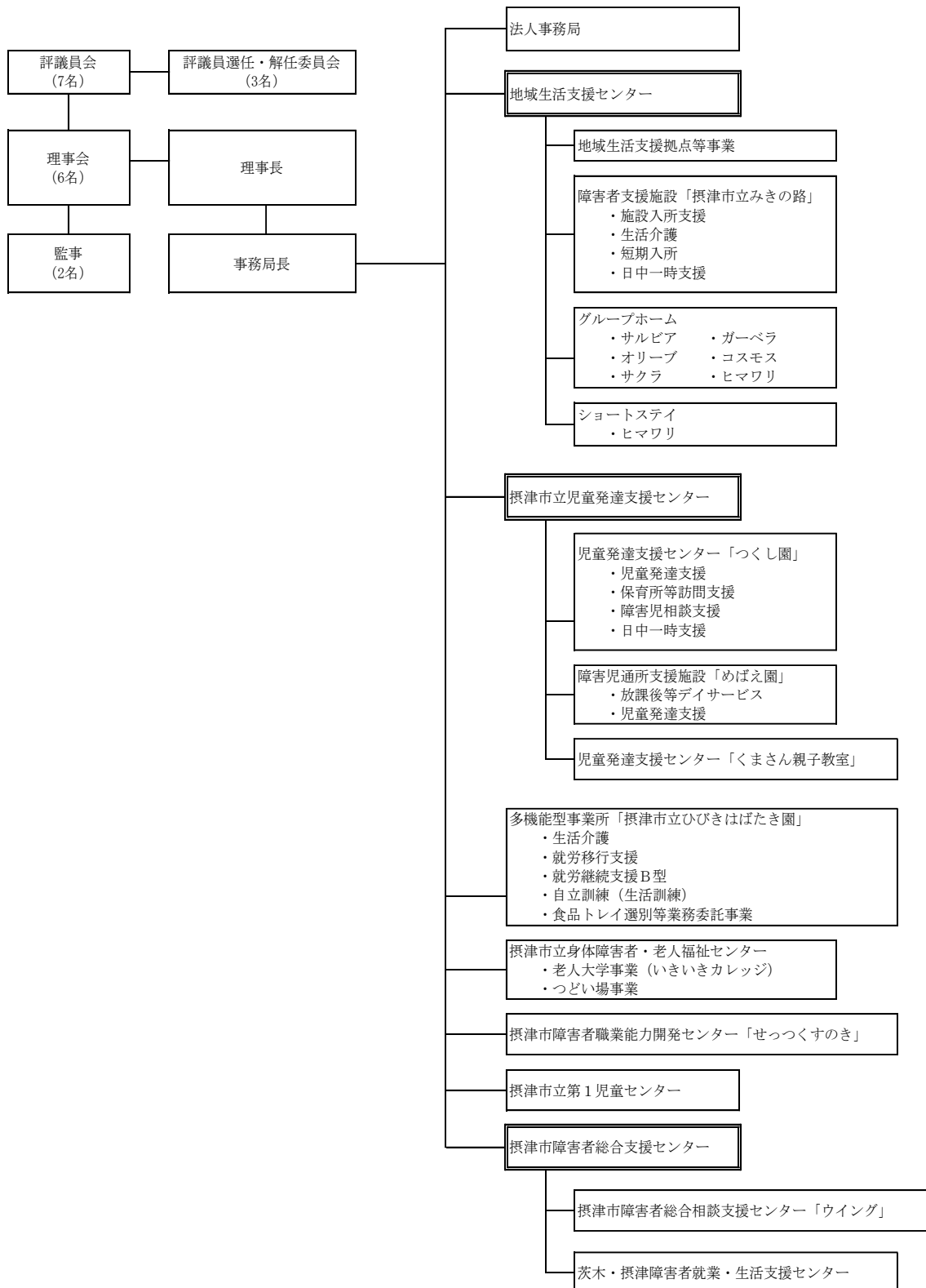
令和 6 年 4 月から、障害福祉サービスの施設では、感染対策委員会を設置し、感染症・食中毒の予防及びまん延の防止の取り組みが義務化された。各施設・事業所単位で、感染症指針・感染対策マニュアル・感染症 B C P を整備し、感染対策委員会の開催及び研修・訓練を実施した。対象外の施設も含めて、施設・事業所単位での研修及び訓練を基本としながら、内容及び状況等により法人単位で研修及び訓練を実施した。

	サービス・施設名	感染対策委員会	研修・訓練
義務化	みきの路・グループホーム・ひびきはばたき園・児童発達支援センター	概ね 3 か月に 1 回 (その他必要に応じて随時開催)	2 回/年
	総合相談支援センター (障害児相談支援)	概ね 6 か月に 1 回 (その他必要に応じて随時開催)	1 回/年
その他	くすのき、身老センター、児童センター、就業・生活支援センター、法人事務局	対象外 (法人単位の年 1 回の委員会に参加)	対象外 (年 1 回の法人研修・訓練に参加)

10 役員・評議員体制 （令和7年3月31日現在）

役職名	氏 名	所 属
理事長	松嶋 桂子	社会福祉法人摂津宥和会 理事長
理 事	稲田 通子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理 事	馬渡 恵美子	摂津市肢体不自由児者父母の会 会長
理 事	山下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族代表
理 事	小島 勝英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
業務執行理事	野村 眞二	社会福祉法人摂津宥和会 事務局長
監 事	村田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 顧問
監 事	辻 晴雄	辻税務経営事務所 所長
評議員	高岡 國士	社会福祉法人成光苑 理事長
評議員	坂本 ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 理事
評議員	榎谷 佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会 会長
評議員	井川 美知子	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野 隆浩	名古屋芸術大学 教授
評議員	北野 人士	一般財団法人摂津市保健センター 事務局長
評議員	谷内田 修	摂津市保健福祉部長

1 1 組織図（令和7年3月31日現在）



1 2 施設定員と職員配置（令和7年3月31日現在）

施設区分	施設定員	職員配置			合 計
		正職員 (再雇用含む)	契約職員 嘱託職員	嘱託医	
法人事務局		5			5
地域生活支援センター					
障害者支援施設 「摂津市立みきの路」					
施設入所支援	30	26	22	1	49
生活介護	40				
短期入所・日中一時支援	5				
グループホーム「サルビア」	10	6	33		39
グループホーム「ガーベラ」	5				
グループホーム「オリーブ」	5				
グループホーム「コスモス」	4				
グループホーム「サクラ」	6				
グループホーム「ヒマワリ」	10				
短期入所「ヒマワリ」	5				
摂津市立児童発達支援センター					
児童発達支援センター「つくし園」	30	17	4	2	23
障害児通所支援施設「めばえ園」	10	2	3	1	6
くまさん親子教室		3			3
多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」		17	16	3	36
生活介護	32				
就労移行支援	6				
就労継続支援B型	16				
自立訓練	6				
摂津市立 身体障害者・老人福祉センター		3	2		5
摂津市障害者職業能力開発センター	20	6	3		9
摂津市立第1児童センター		3	3		6
摂津市障害者総合支援センター					
摂津市障害者総合相談支援センター 「ウイング」		7			7
茨木・摂津障害者就業・生活支援 センター		4	2		6
合 計		99	88	7	194

2 地域生活支援センター

I 障害者支援施設「摂津市立みきの路」

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・緊急一時保護)

1 施設入所支援・生活介護

(1) 概況

利用者の個人としての尊厳の保持を主とし、利用者が心身ともに健康で生きがいのある生活を送る中で、それぞれの年齢、障害特性、健康状態に応じ、また可能な限りニーズを尊重して、自立と社会参加が出来るように支援した。なお、支援に当たっては、利用者の安心と安全を最優先に支援した。

令和6年度は、以下6項目を重点課題として取り組んだ。

① 業務継続計画（BCP）

- 地震を想定した避難訓練と水害を想定した垂直避難訓練の実施、災害備蓄品の管理と補充を行った。その他、消防計画に基づき、火災を想定した避難訓練（うち1回は夜間想定訓練）を実施した。
- 感染症蔓延時の食器等の取扱いや食事提供方法を給食委託業者と打ち合せし、災害時、感染症蔓延時にも円滑な食事提供が出来るように努めた。
利用者に非常食の提供を行い、災害時の非常食の体験を行った。
- 大阪府社会福祉協議会主催の体験型研修に参加し、災害対策本部の運用方法、避難所開設訓練、負傷者搬出訓練など、実践方法を学び、事業継続計画の見直しを行った。

② 人権・権利擁護

- 障害児者の人権と権利擁護の意識を高め、虐待防止に努める強い意識を持った支援を心掛けるため、雇用形態に関わらず全職員に年3回の研修を受講した。
- 虐待防止の一環として、支援困難事例での行き詰まり感や職員のメンタル不調への対応として、チームアプローチ・専門研修の受講・サービス管理責任者等による職員定期面談でのメンタル把握を行った。

③ 利用者の高齢化・重度化に伴う支援と環境整備

- 重度、高齢化する利用者にも快適に生活してもらい、職員の負担軽減にも繋げるため、介護用ベッドを1台購入した。
- 平成14年の開所以来、実施していなかった1階通所フロアの壁紙の張り替えを行い、快適な環境となるよう整備した。
- 1階利用者用トイレにシャワー設備を増設し、利用者の衛生保持だけでなく非常災害時には避難者にも使用できるように環境を整えた。

④ 地域生活支援拠点等事業

毎月開催される相談支援部会への参加で地域ニーズの把握や社会資源を円滑に活用できるよう関係機関との連携を深めた。

○ 地域の体制作りを目的とした相談支援部会のワーキングへ参加した。(ハッピーキッズプロジェクト、社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング、日中活動事業所情報誌作成ワーキング、医療的ケア児者の緊急対応ワーキング)

特に社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキングでは、座長を務め、摂津市内の機関や事業所に加え、茨木保健所等の相談受付機関や対応機関に対し、支援者が緊急対応で使いやすい情報誌の作成に向けて聞き取り調査及び作成に向けて調整を行った。

○ 新規利用者の受入が困難な事業所が増えたため、新規利用者の受入を実施している事業所には積極的に受入を行い、利用ニーズには可能な限り応えてもらうように理解を求めた。

日 時	場 所	活 動	内 容
4月10日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
4月16日	相談支援遊育園	拠点等事業の趣旨説明と登録依頼	地域体制作り
4月23日	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	〃
4月25日	摂津市障害者総合支援センター	ハッピーキッズプロジェクト	〃
5月8日	〃	相談支援部会	相談、地域体制作り
5月24日	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	地域体制作り
6月12日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
6月17日	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	地域体制作り
6月19日	〃 (電話)	市障害福祉課より虐待疑いの精神障害者の受入先の相談→市内短期入所事業所を確保→1泊で利用	緊急時受入・対応
6月19日	みきの路	市障害福祉課よりグループホーム体験利用先の相談→市内グループホーム事業所確保→見学のみで利用に至らず。	体験利用

6月24日	摂津市役所	摂津市障害者地域自立支援協議会 全体会	
6月26日	摂津市障害者総合支援センター	医療的ケア児者の緊急対応ワーキング	地域体制作り
7月10日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
7月11日	摂津市障害者総合支援センター	虐待防止研修企画会議	人材確保・養成、 地域体制作り
7月11日	〃	ハッピーキッズプロジェクト	地域体制作り
7月17日	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	〃
8月2日	摂津市障害者総合支援センター	医療的ケア児者の緊急対応ワーキング	〃
8月6日	〃	虐待防止研修企画会議	人材確保・養成、 地域体制作り
8月14日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
8月22日	摂津市障害者総合支援センター	ハッピーキッズプロジェクト	地域体制作り
8月30日	摂津市役所	市障害福祉課担当者へ社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキングの進捗説明及び情報冊子掲載内容確認依頼	〃
9月4日	みきの路	市内相談支援事業所から緊急短期入所受入先確保の要請➡市内短期入所事業所を確保➡利用	緊急時受入・対応
9月17日	〃	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	地域体制作り
9月19日	大阪府庁	拠点等事業意見交換会	
9月26日	摂津市役所	市障害福祉課長へ社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキングの進捗説明および情報冊子掲載内容確認依頼	地域体制作り

9月27日	摂津市障害者総合支援センター	医療的ケア児者の緊急対応ワーキング	地域体制作り
10月5日	みきの路	市内相談支援事業所から緊急短期入所受入先確保の要請→市内短期入所事業所を確保→利用	緊急時受入・対応
10月8日	摂津市障害者総合支援センター	虐待防止研修企画会議	人材確保・養成、地域体制作り
10月9日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
10月24日	摂津市役所	地域移行部会	地域体制作り
10月25日	みきの路	市内相談支援事業所から緊急短期入所受入先確保の要請→市内短期入所事業所を確保→利用	緊急時受入・対応
10月31日	摂津市障害者総合支援センター	医療的ケア児者の緊急対応ワーキング	地域体制作り
11月13日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
11月18日	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	地域体制作り
12月10日	摂津市障害者総合支援センター	医療的ケア児者の緊急対応ワーキング	〃
12月11日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
1月8日	〃	相談支援部会	〃
1月9日	摂津市障害者総合支援センター	虐待防止研修企画会議	人材確保・養成、地域体制作り
1月14日	みきの路	市内相談支援事業所から緊急短期入所受入先確保の要請→市内短期入所事業所を確保→利用	緊急時受入・対応
1月15日	摂津市立コミュニティプラザ	虐待防止研修（司会進行）	人材確保・養成、地域体制作り
1月24日	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング	地域体制作り

1月28日	オンライン	障害者地域生活支援体制整備事業 オンライン研修	
1月31日	〃	日中活動事業所情報誌作成ワーキング	地域体制作り
2月18日	〃	虐待防止研修振り返り会議	人材確保・養成、 地域体制作り
3月10日	〃	日中活動事業所情報誌作成ワーキング	地域体制作り
3月12日	摂津市立地域福祉活動支援センター	相談支援部会	相談、地域体制作り
3月15日	摂津市立コミュニティプラザ	研修会（障害者雇用を支える～支援者の立場と企業の立場、支える事をどう考える～）	人材確保・養成、 地域体制作り
3月18日	摂津市障害者総合支援センター	医療的ケア児者の緊急対応ワーキング	地域体制作り
3月21日	みきの路	市内相談支援事業所から緊急短期入所受入先確保の要請→市内短期入所事業所を確保→利用	緊急時受入・対応

⑤ 社会貢献事業

- 大阪府社会福祉協議会の大阪しあわせネットワークにおけるコミュニティソーシャルワーカーを3名登録し、地域の生活困窮者の支援に当たった。活動実績は合計2件の相談案件に対して8回の支援を行った。また年3回の摂津市コミュニティソーシャルワーカー情報交換会に参加した。
- 地震や風水害等の自然災害時に人工呼吸器等を必要とする難病児者の避難協力施設として、大阪府茨木保健所と「災害時における患者等の避難受入等に関する協定」を締結した。

⑥ サービスの質の向上

- 利用者と家族に利用満足度アンケートを実施した。アンケート結果は利用者と家族だけでなく、市民にも知っていただくためにホームページで公開した。
- 家族との面会や外泊も一切の制限を解除した。個別支援計画書の見直し時期には書面での説明だけでなく、実際の支援現場の見学を行った。
- ひびきはばたき園の入浴希望の利用者を受け入れ、双方の施設をニーズに合わせて併行利用できるようにした。

⑦ 感染症対策

令和 6 年度に義務化となった感染症対策委員会を立ち上げ、感染症対策で制限を強いていた短期入所の利用制限や外泊、面会の頻度について協議し、緩和策を打ち出した。

(2) 支援の状況【施設入所支援・生活介護（通所）】

① 施設入所支援

利用者に施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

支 援	内 容
個別支援計画	○ 相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者と家族のニーズを踏まえ、看護師・栄養士・主治医との多職種連携で個別支援計画を作成して支援を行った。 ○ サービス管理責任者等が意思決定支援研修会にも参加し、意思決定支援を行った。
生活支援	○ 居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、感染予防の徹底や清潔に配慮し、生活しやすい環境と住環境の提供に努めた。 ○ 食事は栄養士が利用者の嗜好調査を参考にしながら献立を考え、嚥下・咀嚼状況に合わせた食事形態で提供した。給食会議には利用者も参加して献立作成に反映させた。
入浴	○ 利用者が心身ともにリラックスできるよう、週に 4 回入浴サービスを提供した。利用者の身体の状態に応じ一般浴と機械浴を利用し、入浴日以外の入浴や足浴を行ないリラックスできるよう配慮した。
理髪・整容	○ 月に 1 度、摂津理容組合より 1 名と、同じく月に 1 度、美容師 2 名が施設内の部屋を活用し、利用者の整髪を行った。
余暇活動	○ スポーツ観戦としてサッカーを観戦し、日中活動として散歩・買物・制作・カラオケ・ドライブ・室内スポーツ等レクリエーション活動を行なった。 ○ 買い物をする楽しさや自己選択を目的に、訪問販売業者による日用品、お菓子・衣服を買物できる機会を提供した。
健康管理	○ 利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に日常的な健康管理を行った。定期通院や突発的な体調の変化の時は医療機関を受診し、早期治療に努めた。 ○ 嘱託医と協議し、月 1 回の往診から体調不良時にも往診できる体制を構築した。 ○ 嚥下機能の低下が見られる利用者には、看護師と栄養士を交えた会議を実施し、主治医の意見も反映させた食事形態の工夫等を行った。

(ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医 (内科医)	毎月 1 回 (体調不良者が出た場合は随時)
歯科医	毎週火曜日、金曜日
精神科医	毎月 2 回

(イ) 健康診断(医療機関:千里丘協立診療所・場所: 1 階社会適応訓練室) (人)

実施日	内 容	受診人数
10 月 22 日	身体測定 (身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、尿検査、問診、心電図	29
3 月 18 日	身体測定 (身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、尿検査、問診	28

(ウ) 予防接種・ワクチン接種

- 嘱託医にて 12 月 17 日の定期往診時にインフルエンザの予防接種を実施した。
- 新型コロナウイルスワクチン接種は、嘱託医と協議し予防効果と副反応を考慮した結果、今年度の接種は見送った。

(エ) 医療機関受診状況 (延べ人数)

(人)

診療科目	受診人数
内科	250
神経内科	9
循環器内科	5
整形外科	14
歯科	1,330
精神科	362
泌尿器科	1
皮膚科	43
肛門科	20
便秘専門外来	5
眼科	2
耳鼻咽喉科	3

消化器内科	2
精神神経科	2
脳神経外科	4
救急外来	2
合 計	2,054

② 生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障害特性や心身の状態に応じて、生きがい及びやりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食）、リフト付きワゴン車（3台）での送迎サービスを実施した。

支 援	内 容
個別支援計画	○ 相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者と家族のニーズを踏まえ個別支援計画を作成し支援を行った。家族にも実際の支援現場を見学し、ニーズを把握するように取り組んだ。サービス管理責任者等は意思決定支援研修会に参加し、意思決定支援に努めた。
個別活動	○ 個別支援計画をもとに、音楽に合わせたリズム体操や歩行訓練、ボウリング・フライングディスク・ボッチャ等のスポーツ活動での身体機能の維持・向上に努めた。 ○ エアロバイク、腹筋台・トランポリン・ストレッチマットで、利用者個々の特性に合わせた運動 ○ 塗り絵・プットイン作業、計算練習などで、集中力を高める活動
制作	○ 季節に応じたガラス扉の制作、ロビー及び廊下の作品展示、飾り付け等塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。
館内清掃	○ 利用者の特性に合わせ、役割を決めて施設内の清掃を行い、施設の美化活動を行った。
散歩・外気浴	○ 身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出かけた。活動時間が少ない時は施設前を歩きながら外気浴を実施した。
入浴	○ 自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には週に一度入浴サービスを提供した。家庭の事情など、必要に応じて週2回の入浴を提供した。
家族との連携	○ 連絡表の書式を変更し、簡潔に情報共有が出来るように工夫した。事業所の併用利用には、情報共有がしやすく、情報共有できるように、専用の連絡表を作成した。
体験利用受け入れ	○ 身体機能の重度化で通所先に通えなくなった利用者の体験利用を1件、通所先の変更を検討している利用者の体験利用を1件受け入れ、利用に繋げた。

送迎サービス	○ 送迎サービスの利用を希望する方に対し、ドアツードアを基本として、リフト付き送迎車 3 台を運行した。引き続き、ひびきはばたき園と合同運行を実施した。
健康管理	○ 利用者の健康状態を把握するため、来所時の検温と血圧測定を行った。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談して家族に状況を伝え、必要に応じて受診を勧めた。

(ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、医療機関へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ協力医による健康診断を実施した。

(人)

実施日	内 容	受診者数
10 月 22 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、心電図	8

(イ) 予防接種・ワクチン接種

○ 医療機関へ行くことが困難な利用者に対して、希望者のみ嘱託医によるインフルエンザ予防接種を 12 月 17 日に実施し、7 名が接種した。

○ 新型コロナウイルスワクチン接種は嘱託医と協議し、予防効果と副反応を考慮した結果、今年度の接種は見送った。

③ 入所・通所：共通の取り組み

取り組み	内 容
手作りおやつ	○ 栄養士が利用者の希望を聞きながら、フロアごとに 3 週間に 1 回実施した。
音楽療法	○ 毎月 3 回、音楽療法士が来所し、利用者が参加したい時に好きな場所で参加できるように取り組んだ。
日帰り外出	○ 入所・通所の利用者が合同で外出する機会として、障害特性やニーズを考慮して少人数での外出を行った。
絵画教室	○ 利用者の自己表現活動と余暇の充実を目的に、絵画講師が毎週木曜日に実施した。摂津市人権啓発作品展やつくっ展と輝けコンサートに出展した。
理学療法	○ 必要な利用者に対し、理学療法士がリハビリを実施した。 ○ 理学療法士が不在の時は、リハビリテーション計画に沿って理学療法士の指導を受けた支援員が運動やストレッチ等を実施した。

④ その他

各種会議	○ 地域生活支援センター全体会議（月 1 回） ○ 支援（フロア）会議（月 1 回） ○ ケース会議（随時） ○ 行事担当者的会議（随時） ○ リスクマネジメント会議（随時） ○ サービス管理責任者の会議（月 2 回） ○ リーダー会議（月 2 回） ○ 給食会議（年 3 回）
災害事故防止 対策	○ 福祉避難所として摂津市と協定を結び、安心して利用できるよう、非常食の準備・衛生品や日用品・ポータブル電源等の整備を行った。地域の難病児者の緊急避難先として、大阪府茨木保健所と災害時に避難受入等に関する協定書を締結した。 ○ 今年度からの義務化に伴い、事業継続計画（BCP）の研修・訓練を年 2 回実施した。感染症対策の強化として、研修・訓練を年 2 回実施した。
虐待防止	○ 職員一人ひとりが利用者の人権擁護、虐待防止に努め、その責務を果たせるよう虐待防止マネジャー会議を年 2 回、委員会を年 2 回、虐待防止研修を 2 回開催した。 ○ 毎月「自己チェックシート」を使って自らの支援を見直し、虐待防止について意識を高めると共に、法人理念、経営方針、行動規範、事業所理念等を確認して意識を高められるよう努めた。
社会参加 ・地域貢献	○ 地域の一員として、嘉門公園のごみ拾いを利用者と共に行った。 ○ 摂津市人権教育啓発作品展・つくっ展と輝けコンサート作品を出展して啓発活動に努めた。 ○ 摂津祭り、桜町フェスティバル等地域イベントにも積極的に参加し、地域住民との交流を図った。 ○ 摂津市風船バレーボール大会や大阪府障がい者スポーツ大会にも参加し、摂津市および大阪府下の他施設との交流を行った。
苦情解決	○ 苦情解決の手引きに従って、利用者及び家族、支援者からの苦情は真摯に受け止め、状況確認後に丁寧に説明し、必要に応じて相談支援事業所を交えた検証後の改善を速やかに図った。市障害福祉課にも報告を行った。
各種会議への 利用者の参加	○ 入所・通所各フロアから代表利用者計 3 名を選任してもらい、給食会議や各種行事やイベントの企画会議に参加した。

(3) 定員及び利用状況（令和7年3月31日現在）

① 定員及び利用人数

(ア) 利用実人数

○ 施設入所支援 定員 30 名（男性 17 名・女性 13 名） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
女	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	12	152
計	28	28	28	29	29	29	29	29	29	29	29	28	344

○ 生活介護（通所） 定員 10 名（契約者数 17 名） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	11	11	11	10	10	10	11	11	11	10	10	10	126
女	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	6	64
計	17	17	17	15	15	15	16	16	16	15	15	16	190

(イ) 利用延人数

○施設入所支援 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	480	494	477	495	495	479	494	478	491	488	448	495	5,814
女	360	370	359	401	400	385	401	388	397	398	364	387	4,610
計	840	864	836	896	895	864	895	866	888	886	812	882	10,424
支援 日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
平均 人数	28.0	27.9	27.9	28.9	28.8	28.8	28.8	28.9	28.6	28.6	29.0	28.5	28.6

○ 生活介護（通所） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	150	158	148	162	142	129	153	148	130	135	116	133	1,704
女	91	88	90	78	74	71	80	76	72	66	58	74	918
計	241	246	238	240	216	200	233	224	202	201	174	207	2,622
支援日数	22	21	20	22	21	19	23	21	20	19	19	20	247
平均人数	11.0	11.7	11.9	10.9	10.3	10.5	10.1	10.7	10.1	10.6	9.2	10.4	10.6

② 利用者の状況

(ア) 年齢

○施設入所支援

(人)

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	0	2	6	7	1	16
女	0	0	1	2	6	3	12
計	0	0	3	8	13	4	28

* 平均年齢：男性 48.7 歳 女性 54.3 歳 全体 51.5 歳

○生活介護（通所）

(人)

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	4	3	1	2	0	10
女	1	2	1	1	0	2	7
計	1	6	4	2	2	2	17

* 平均年齢：男性 31.9 歳 女性 42.7 歳 全体 35.7 歳

(イ) 手帳の所持状況

○施設入所支援

(療育手帳)

(人)

	A	B 1	B 2	合計
男	16	0	0	16
女	11	1	0	12
計	27	1	0	28

(身体障害者手帳)

(人)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	2	0	0	0	1	13	16
女	2	3	2	1	0	4	12
計	4	3	2	1	1	17	28

○生活介護（通所）

（療育手帳）

（人）

	A	B1	B2	なし	合計
男	11	0	0	0	11
女	6	0	0	0	6
計	17	0	0	0	17

（身体障害者手帳）

（人）

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	3	4	1	0	0	3	11
女	2	0	0	0	0	4	6
計	5	4	1	0	0	7	17

（精神障害者保健福祉手帳）

（人）

	1 級	2 級	3 級	なし	合計
男	0	0	0	11	11
女	0	1	0	5	6
計	0	1	0	16	17

（ウ）障害支援区分

○施設入所支援

（人）

	区分 6	区分 5	区分 4	合計
男	4	8	4	16
女	8	3	1	12
計	12	11	5	28

* 平均支援区分 男性 5.0 女性 5.6 全体 5.3

○生活介護（通所）

（人）

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	合計
男	7	4	0	0	11
女	2	2	2	0	6
計	9	6	2	0	17

* 平均支援区分 男性 5.6 女性 5.0 全体 5.3

(4) 行事

① 施設行事

5 月 16 日	音楽コンサート	施設入所支援 生活介護（通所）	音楽療法士によるコンサート
7 月 14 日	夏祭り	〃	通所とグループホーム、入所の 2 部構成で実施
7 月 31 日	多世代交流事業	〃	身障老人センター、児童発達支援センター、第 1 児童センターとリモートでつなぐ
10 月 3 日	みきの路運動会	〃	競技毎に実施フロアを分けて全館使用で開催
12 月 24 日	クリスマス会	〃	各フロアでオンラインとプロジェクターを使って実施

② 個別外出

(人)

実施日	場 所	参加者数
4 月 25 日	京都鉄道博物館	3
5 月 18 日	アニメパーク ニジゲンノモリ	3
6 月 6 日	イオンモール茨木	3
6 月 12 日	カップヌードルミュージアム大阪池田	3
9 月 19 日	天王寺動物園	4
9 月 21 日	アンパンマンミュージアム	3
10 月 5 日	パナソニックスタジアム吹田（J リーグ観戦）	2
10 月 10 日	京都太秦映画村	3
10 月 29 日	ニフレル	4
11 月 5 日	天王寺動物園	3
11 月 22 日	京都太秦映画村	3
12 月 12 日	京都鉄道博物館	2
12 月 19 日	〃	2

③ 法人事務

○スポーツフェスタ 2024：11 月 30 日開催の法人全体行事に入所・通所の利用者が参加した。土曜日開催であったが、通所利用者には参加しやすいように送迎サービスを行った。

○ひびきはばたき園主催「つくっ展と耀けコンサート」：2 月 15 日に摂津市立コミュニティプラザで開催され、絵画教室で作成した作品を展示した。

(5) 防災・防犯

- ① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第1回目	11月5日
第2回目	3月17日

- ② 利用者参加のもと、避難訓練を4回実施した。

第1回目	5月29日（水害想定：垂直避難訓練）
第2回目	9月4日（火災想定：避難・通報訓練）
第3回目	1月15日（地震想定：夜間避難訓練）
第4回目	3月4日（火災想定：避難・消火訓練）

- ③ AED使用法の講習

7月12日	救命救急講習	摂津市消防本部	職員8名参加
-------	--------	---------	--------

- ④ 防犯訓練

11月15日	通報方法やさすまたの使用 方法、護身術の訓練	摂津市消防本部	職員15名参加
--------	---------------------------	---------	---------

(6) 実習生の受け入れ

摂津市立第三中学校からの職場体験実習として、2名の生徒を受け入れた。

(7) 支援学校進路説明会

摂津支援学校、吹田支援学校の合同進路説明会への参加および事業所説明資料を作成し、新規利用者獲得に努めた。

摂津支援学校、茨木支援学校、高槻支援学校、箕面支援学校を対象とした「進路のてびき」の作成を行った。資料にはQRコードを貼り付けて、簡易に施設のホームページが観られるよう工夫した。

(8) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加を積極的に行った。正規職員だけでなく、契約職員にもオンライン研修を中心に受講した。

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
4 月 15 日	新入職員のためのサービスマナーセミナー	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	支援員 栄養士
4 月 24 日	管理職研修	摂津市役所	摂津市	施設長
5 月 10 日	地域支援部会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	支援員
5 月 14 日	障害者支援施設部会 施設長会	〃	〃	施設長
5 月 17 日	管理職研修	摂津市役所	摂津市	〃
5 月 31 日	大阪知的障害者福祉協会総会・研修会	ホテルアウィーナ 大阪	大阪知的障害者福祉協会	〃
6 月 3 日～ 7 月 31 日	食中毒の正しい知識 と衛生管理を学ぶ	オンデマンド	大阪府社会福祉協議会	栄養士
6 月 4 日～ 6 日	障害者差別解消法に係る説明会	〃	内閣府	全職員
6 月 6 日	茨木保健所集団給食 研究会総会	茨木保健所	茨木保健所	栄養士
6 月 12 日 7 月 17 日 8 月 5 日	発達障害研修	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	摂津宥和会	全職員
6 月 13 日	うつ病の正しい理解	オンライン	大阪府社会福祉協議会	看護師
6 月 20 日 7 月 1 日	障がい児者・救護 施設課程基礎コース	大阪府社会福祉指導センター	〃	支援員
6 月 21 日	大阪府社協従事者部会 マナー研修	たかつガーデン	〃	〃
6 月 25 日 ～8 月 13 日	障がい児者施設の虐待防止研修	オンデマンド	〃	全職員
6 月 26 日	摂津市社会福祉施設地域 貢献委員会実務担当者 情報交換会	摂津市立地域福祉 活動支援センター	摂津市社会福祉協議会	施設長 代理
7 月 3 日、 12 日、25 日 8 月 5 日、 29 日	地域福祉コーディネーター のための基礎研修	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	支援員

7月6日 7日	社会福祉施設の今日的 使命を問う	オンライン	公益財団法人鉄道弘済 会	支援員
7月12日	摂津市消防本部によ る救急法講習会	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	支援員 栄養士
7月18日	ハラスメント防止講 習会	オンライン	ソウェルクラブ	サビ管
7月23日	メンタルヘルス講習 会	〃	〃	施設長 代理
7月25日	食中毒予防講習会	茨木保健所	茨木保健所	栄養士
8月28日	障害者支援施設部会 幹事会	大阪府社会福祉会 館	大阪知的障害者福祉協 会	支援員
9月5日	集団指導者養成研修 (BCPの運用と実践)	たかつガーデン	大阪府社会福祉協議会	施設長
9月14日 10月7日	大阪府強度行動障が い支援者養成研修 (基礎)	1日目：オンデマ ンド 2日目：平野区民 センター	大阪府障がい者自立相 談支援センター	支援員
9月19日	地域生活支援拠点等事 業意見交換会	大阪府庁	大阪府	施設長
9月26日	障害者支援施設部会施 設長会	大阪府社会福祉会 館	大阪知的障害者福祉協 会	〃
9月30日～ 11月29日	大阪府障がい者虐待防 止・権利擁護研修	講義：オンライン 演習：たかつガーデ ン	大阪府	施設長 代理
10月2日	安全運転管理者講習	摂津市民文化ホー ル	大阪府交通安全協会	施設長
10月25日	集団指導者養成研修 (BCP体験型研修)	たかつガーデン	大阪府社会福祉協議会	〃
10月31日	リスクマネジメント研 修会	大阪府社会福祉会 館	福祉と人権の研修ネッ トワークおおさか	支援員
11月14日 28日、29日	サービス管理責任者 実践研修	全体講義：オンデ マンド 演習：ビッグアイ	大阪府障害者福祉事業 団	サビ管
11月14日 21日、28日	福祉職員キャリアパス (チームリーダー)	大阪府社会福祉指 導センター	大阪府社会福祉協議会	支援員
11月8日	支援者に求められる感 性と想像力(創造力)	大阪府社会福祉会 館	大阪知的障害者福祉協 会	〃

11月11日 ～1月10日	感染症の特性と予防対策の工夫を学ぶ	オンデマンド	大阪府社会福祉協議会	全職員
11月15日	摂津警察による防犯訓練	摂津市立 みきの路	摂津市立みきの路	支援員
11月18日 ～12月2日	強度行動障がいのある 方々の豊かな暮らしの 実現と人材育成を考える	オンデマンド	社会福祉法人 北摂杉の子会	全職員
12月16日	法人虐待防止研修	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	摂津宥和会	〃
12月18日	社会福祉施設等で勤務する介護職員等を対象とした感染症対策研修	ナーシングアート 大阪	大阪府	支援員
12月19日 ～20日	障害者支援施設部会 全国大会	広島国際会議場	日本知的障害者福祉協会	施設長
1月9日、 10日、30日	福祉職員 OJTリーダー養成研修	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	サビ管
1月15日	摂津市虐待防止研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	支援員
1月16日	意思決定支援研修	〃	〃	サビ管
1月27日	栄養士・調理師情報交換会	オンライン	大阪府社会福祉協議会	栄養士
1月28日	障害者地域生活支援体制整備事業オンライン研修	〃	厚生労働省	施設長
1月30日	栄養士・看護師情報交換会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	栄養士 看護師
2月28日	北摂施設長会議	箕面市立ささゆり園	〃	施設長
3月14日	意思決定支援学習会	大阪社会福祉会館	〃	〃

2 短期入所 定員 5 名（男性 2 名・女性 3 名）

（1）利用延人数

○ 成人

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	2	4	6	13	2	27	3	26	24	10	5	10	132
女	5	10	12	2	5	2	17	37	3	9	3	24	129
計	7	14	18	15	7	29	20	63	27	19	8	34	261

○ 児童

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	5	0	1	3	2	2	4	17
女	0	2	0	0	4	4	4	10	2	0	6	4	36
計	0	2	0	0	4	9	4	11	5	2	8	8	53

* 成人・児童 合計延べ利用人数：314 人

3 日中一時支援事業

○ 成人

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

4 緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、令和 6 年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1 床）」の覚書を締結した。今年度の受入要請は無かった。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

II 共同生活援助（グループホーム）

1 概況

（1）6 ホームの運営

利用定員 40 名中、現在 37 名のご利用者が生活を送っている。1 名新たに入居したが、3 名欠員の状態である。ガーベラは空床が 1 床あるが、ご利用者の高齢に伴う ADL（日常生活動作）の低下や、簡易のスプリンクラーの設置が必要になるため、転居先を探したが 2 件の物件紹介があったものの、階段の勾配や間取りを検討した結果、利用者が転居先として納得する物件ではなく見送った。

（2）世話人会議

毎月第 3 木曜日の 14 時から 15 時で、みきの路の社会適応訓練室で開催した。利用者支援のポイントなどを伝え、統一した支援やスキルアップの機会としてしても活用した。また、新規採用の世話人にはオリエンテーションを行いグループホームの歴史や意義、世話人の業務に加え障がい特性や虐待防止、人権についての説明を行った。

（3）生活環境の整備

家電製品の老朽化により、洗濯乾燥機の修理とエアコン 7 台の買い替えを行った。特に、平成 28 年開所のコスモスには、リビングと居室 4 台のエアコンを買い替えた。

2 定員及び利用状況（延利用者数）

（1）サルビア（利用定員 10 名 女性）（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	273	262	266	273	262	268	279	273	276	273	252	257	3,214
1 日平均	9.1	8.5	8.9	8.8	8.5	8.9	9.0	9.1	8.9	8.8	9.0	8.3	8.8

（2）ガーベラ（利用定員 5 名 女性）（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,095
1 日平均	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

（3）オリーブ（利用定員 5 名 女性）（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	150	153	150	153	149	150	153	150	152	151	140	155	1,806
1 日平均	5.0	4.9	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	5.0	5.0	4.9

(4) コスモス (利用定員 4 名 男性)

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	73	82	85	93	89	88	91	89	90	90	83	93	1,046
1 日平均	2.4	2.6	2.8	3.0	2.9	2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0	2.9

(5) サクラ (利用定員男性 4 名 女性 2 名)

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	159	155	151	164	148	156	155	158	139	138	131	145	1,799
1 日平均	5.3	5.0	5.0	5.3	4.8	5.2	5.0	5.3	4.5	4.5	4.7	4.7	4.9

(6) ヒマワリ (利用定員男性 8 名 女性 2 名)

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	245	246	248	254	239	231	217	206	214	219	198	227	2,744
1 日平均	8.2	7.9	8.3	8.2	7.7	7.7	7.0	6.9	6.9	7.1	7.1	7.3	7.5

3 入居者の状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

(1) サルビア

○年齢構成

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	合計
1	2	2	4	1	10

○障害支援区分

区分 3	区分 4	区分 5
3	4	3

○手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1
8	2

○介護認定

要支援
1

○日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	デイサービス (介護保険)
8	2	1 (生活介護と併用利用)

(2) ガーベラ

○年齢構成

40 代	60 代	70 代	合計
1	1	1	3

○障害支援区分

区分 3	区分 4	区分 5
1	1	1

○手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1	療育手帳 B2
1	1	1

○介護認定

要介護 1
1

○日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	デイサービス（介護保険）
2	1	1（生活介護と併用利用）

（３）オリーブ

○年齢構成

20 代	40 代	50 代	合計
3	1	1	5

○障害支援区分

区分 2	区分 3	区分 4
2	2	1

○手帳所持状況

療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
2	3

○日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	就労
1	2	2

（４）コスモス

○年齢構成

40 代	50 代	合計
2	1	3

○障害支援区分

区分 4	区分 5
1	2

○手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 2	身体障害者手帳 2 級
2	1	1（療育手帳 A と重複）

○日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型
2	1

(5) サクラ

○年齢構成

20代	50代	60代	合計
3	2	1	6

○障害支援区分

区分3	区分4
4	2

○手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B2	精神保健福祉手帳 2 級	身体障害者手帳 2 級
3	1	1	1

要介護 1
1

○日中活動状況

生活介護	就労継続支援 A 型	就労継続支援 B 型	デイサービス（介護保険）
2	1	3	1（生活介護と併用利用）

(6) ヒマワリ

○年齢構成

20代	30代	40代	50代	合計
1	7	1	1	10

○障害支援区分

区分3	区分4	区分5	区分6
1	2	5	2

○手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B1	身体障害者手帳 2 級
9	1	1（療育手帳 A と重複）

○日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型
8	2

4 支援の状況

支援について	○家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。
日中活動の場	○日中は、就労や生活介護等の事業所を利用した。土日祝日については、移動支援の利用、または帰宅した。

就労の支援	○就労先の業務縮小に伴い、転職を余儀なくされた利用者に対し、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターと連携を図り、就職の面接に必要な準備、ルート確認、ハローワークの手続き等対応を行い就職に結びつける支援を行った。
食事提供	○加齢・重度化により誤嚥防止を強化し、刻み食対応やお粥の提供等、利用者の障がい特性の変化に柔軟に対応するために、主治医との意見交換を積極的に行った。自炊希望者には、火の取扱いや食材の賞味期限の確認、準備・片付けに必要な支援を行い、自立に向けた対応を実施

5 個別支援計画

個別支援計画	○利用者個々の多様なニーズに対応するために、6ヶ月に1回アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス、支援を提供した。
コミュニケーション	○利用者の意思表示を引き出すために日々のコミュニケーションを増やすよう努め、家族や支援者の意見を反映させながら個別支援計画を作成した。
相談支援事業所	○相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で利用者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

6 健康管理・感染症対応

健康状態の把握	○世話人がバイタルチェックや利用者の様子等の把握に努め、体調不良等が疑われる場合は、管理者や支援員が24時間所持している携帯電話で対応を指示して、必要に応じて通院した。
定期通院	○配慮のいる方については、通院同行を行った。また、通院が困難な利用者は、往診対応に切り替える手続き等を行った。
健康診断	○日中活動の事業所や市民健診の受診に併せ、その他の検診（各種がん検診）や肺炎球菌等の予防接種、歯科検診に同行した。検診結果を主治医に提出し、健康状態の把握や病気の早期発見、治療等の対応に努めた。
通院のサポート	○一人で通院する利用者には、主治医と書面や電話での情報交換を行った。
歯科受診	○訪問歯科を導入しており、サルビア・コスモス・サクラ・ヒマワリの希望者が利用。訪問歯科を希望しない利用者は、障がい者に

	理解のある歯科へ通院同行した。
服薬	○服薬が難しい利用者には誤薬防止のため、支援員が薬を管理し、配薬準備や世話人への配薬指導を行い、チェック表・声掛け確認・手渡しで全面的な支援を行った。
感染症の予防接種	○利用者や家族の希望により、インフルエンザ予防接種の通院をした。
感染症等の対応	○発熱・体調不良が疑われる場合は、すぐに個室対応等の感染症対策の初動対応を行い、医療機関に相談して通院を行った。早期対応により重症化せず、ホーム内での感染拡大は無かった。
感染症対策	○みきの路と合同で、感染症対策委員会を立ち上げ、感染対策マニュアル・事業継続計画の一部見直しを行った。感染症流行時には対応協議を行い、蔓延防止に努めた。
配食サービス	○生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、統一した栄養管理の徹底を継続するために、配食サービスの委託を継続した。
ヒマワリの配食	○利用者及び家族から配食会社の変更を希望され、配食業者を変更した。

○医療機関受診・往診状況（延べ人数）

（人）

GH 名	サルビア	ガーベラ	オリーブ	コスモス	サクラ	ヒマワリ
内科	37	14	16	8	20	—
外科	—	—	2	—	—	—
精神科	31	9	21	9	18	23
脳神経内科	4	—	5	—	—	—
消化器内科	1	—	—	—	—	—
歯科	7	8	3	—	—	4
皮膚科	27	—	9	—	4	9
耳鼻科	1	—	—	—	—	7
眼科	2	7	—	—	—	2
婦人科	8	—	12	—	—	—
訪問歯科	184	—	—	52	32	100
整形外科	1	2	—	—	1	—
インフルエンザ 予防接種	5	1	4	3	1	—
合 計	308	41	72	72	76	145

7 日中活動

事業所連携	○日中活動事業所と連携を図り、利用者の状況や支援について情報共有した。
利用者支援の統一	○相談支援事業所・医療機関・ヘルパー事業所と連携した。また、利用者の担当者会議にも出席した。

8 行事・余暇

余暇支援	○ゴールデンウィーク・お盆・年末年始にはお菓子の詰め合わせやお寿司等を購入し、季節の催しを楽しめるように企画した。
行事参加	○市風船バレーボール大会・大阪府障がい者スポーツ大会に参加し、摂津市及び大阪府下の他施設との交流を図った。
移動支援	○ヘルパー事業所と連携し、希望する行き先や日程の調査を行い、余暇の充実に努めた。

9 災害対策・防犯対策

避難場所	○災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険箇所、連絡方法を記載した書類を各ホームに掲示し、災害発生時に円滑に確認出来るように備えた。
避難確保計画	○全ホームの「洪水時の避難確保計画」を作成し、全職員が閲覧出来るように掲示し、日頃の外出や散歩の際にも利用者に説明した。
避難訓練	○全ホームで、災害や水害を想定した避難訓練を4月と10月の年2回実施。参加できなかった利用者にも、改めて実施したり、地図での経路確認等を行った。
防犯対策	○ヒマワリの館外3か所に防犯カメラを設置している。

10 職員研修等

(1) 外部研修会

研修日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
6月3日	令和6年度障がい等福祉従事者研修（世話人研修）	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	世話人

8月16日 ～22日	大阪府サービス管理責任者等基礎研修	大阪私学会館	大阪府福祉事業団	サービス管理責任者
8月19日	摂津市係長級労務管理研修	摂津市役所	摂津市	施設長代理
9月12日 ～13日	令和6年度第35回全国グループホーム等研修会(近畿地区大会 in 兵庫)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	日本知的障害者福祉協会	〃
10月30日	令和6年度大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修障がい福祉サービス事業所等コース	たかつガーデン	大阪府福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課権利擁護グループ	サービス管理責任者
12月17日	令和6年度グループホーム世話人等研修会	大阪府庁新別館南館8階	大阪府障がい者自立相談支援センター	生活支援員
11月18日 ～25日 動画 12月17日 18日 演習	令和6年度 大阪府サービス管理責任者等 更新研修	大阪府社会福祉会館3階	大阪府地域福祉推進財団	サービス管理責任者、施設長
12月18日	矯正施設を退所した福祉課題を抱える人への支援	〃	大阪府社会福祉協議会	生活支援員

(2) 法人研修(世話人には伝達研修を実施)

研修簿	研 修 名	場 所	主 催	参加者
6月6日	障害者差別解消法について	オンライン	内閣府	全職員
8月5日	発達障害研修	ハイブリッド	摂津宥和会	〃
11月1日 ～29日	人権・同和問題企業啓発講座第2部 職場のハラスメント対策	オンライン	〃	〃
11月11～ 1月10日	感染症の特性と予防対策の工夫を学ぶ	〃	〃	〃

1 1 各種会議

地域生活支援センター全体会議	月 1 回
ホーム別世話人会議	年 2 回
世話人全体会議	月 1 回

1 2 社会貢献事業

大阪しあわせネットワーク	○コミュニティソーシャルワーカーが、地域の生活困窮者の支援に 2 件の相談に対して 8 回の支援を行った。
摂津市コミュニティソーシャルワーカー情報交換会	○大阪府社会福祉協議会と摂津市社会福祉協議会、其々に配置されているコミュニティソーシャルワーカーの役割の明確化・相互連携の必要性を提起した。

1 3 地域活動

自治会	○コスモスがある摂津鳥飼西住宅の班長として、毎月の自治会費徴収や月例会議、お盆・年末の夜警に支援員が参加した。
地域防災訓練に参加	○12 月に実施された、鳥飼西小学校地区の地域防災訓練に支援員と利用者 1 名が参加した。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

Ⅲ 短期入所（定員 5 名）

1 概況

ショートステイヒマワリは、グループホームヒマワリと同じ建物にあり、定員 5 名の単独型事業所として運営している。

（１）事前のアセスメント

できるだけ自宅での生活リズムに近い環境で過ごしていただけるよう、しっかりと行った。また、利用者にできるだけ不安を与えないように可能な限り固定の生活支援員を固定して対応するように配慮した。

（２）情報提供

3 人の方が相談支援事業所からの情報提供だけでなく、利用者からの情報提供により、児童 4 名と成人 3 名と新規契約を結び、3 名の利用に繋がった。

（３）利用状況（定期利用以外）

家族の入院や自宅以外の場所で泊る経験、家族の介護負担の軽減、家族の用事等が理由で利用された。希望日数は、月 1 回~6 回程度、1 泊 2 日・3 泊 4 日など様々であった。希望に添えない利用者には、相談支援事業所等と連携して、みきの路との併用をお願いした。

（４）食事の提供

食事は、利用者の食事摂取状況に応じ、必要な方には刻み食、ミキサー食などの食事形態で提供した。当該事業所からの食事提供を基本としているが、食事へのこだわりがある方については、自宅で調理したもの等の持ち込みについて相談に応じて対応した。

（５）入浴の提供

感染症及び衛生面を考慮して持ちよく入浴できるように、利用者ごとに浴槽の清掃、湯の入れ替えを行った。

（６）送迎

送迎を希望される方が多く、ご自宅または通所事業所への送迎を実施した。必要に応じて、添乗職員を配置した。

（７）夜間支援

夜間は 3 回の巡回を実施し、必要な方にはトイレ誘導等の支援を行った。
記録用紙の作り替えを行い、体調や睡眠状況を個々のファイルに遺漏がないよう申し送りをした。

2 利用状況及び利用人数

(1) 契約人数 (人)

契約人数	49
新規契約人数	7

(2) 年間の延利用人数・平均利用人数 (人)

	合 計 (児童・成人)
年間延利用人数	572
平均利用人数/1 日	1.6

(3) 年間実利用人数 (人)

	成人	児童
年間 (新規)	19 (2)	6 (1)
定期利用 (1～3 ヶ月に 1 回利用)	18	3

(4) 月間実利用人数 (人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
成人	男	10	10	9	10	10	11	10	9	12	10	9	10	120
	女	6	7	8	7	6	6	6	6	4	4	0	0	60
児童	男	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	11
	女	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	21
合計		21	20	20	20	19	20	19	18	18	17	10	10	212

(5) 月間延利用人数 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
成 人	45	52	53	51	48	51	40	42	40	42	22	18	504
児 童	16	6	6	6	6	4	6	6	4	6	2	0	68
合計	61	58	59	57	54	55	46	48	44	48	24	18	572

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

3 摂津市立児童発達支援センター

I 児童発達支援センター「つくし園」

1 概況

つくし園は、児童発達支援センターとして、3事業を実施した。

○児童発達支援: 児童福祉法に基づき、発達に課題のある就学前の児童一人ひとりに寄り添い、個別の発達支援計画に基づいた支援や療育を提供。

○保育所等訪問支援: 保育所、幼稚園、小学校等を訪問し、発達に課題のある児童が集団生活をより豊かに過ごせるよう、専門的な支援や助言を行った。

○障害児相談支援: 児童の障がい特性に配慮し、生活全般に関する相談支援をトータルに行った。

令和6年度は、以下3点について重点的に取り組んだ。

(1) 進路相談

全ての利用児童を対象に、クラス面談と個別面談を実施し、児童の状況や発達段階に応じた進路相談を行った。令和7年度の就学児童については、市教育委員会との連携により、対象となる小学校および支援学校の保護者見学や体験入学等の機会を設け、児童とご家族が納得のいく進路決定ができるよう支援した。

(2) 中核的取組

令和6年4月の法改正により、児童発達支援センターの「中核的取組」が明確に位置づけられ、当センターで取り組んできたことではあるが、摂津市こども政策課や教育支援課との連携をさらに密にして取り組んだ。

(新たな取り組み)

- ①「摂津市児童通所支援事業所連絡会」の開催増
- ②「摂津市障害児相談支援事業所連絡会」の立ち上げ
- ③ 地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能を取り入れることを前提に、専門機関のコンサルテーションを実施

(3) 新規「前向き子育てプログラム」の導入

発達に課題のある児童の保護者に対し、子育ての喜びや悩みを分かち合いながら、共に子育てをする関係づくりを大切にした支援の一環として、当センターをご利用いただいている保護者の方々向けの取り組みとして、子育てをサポートした。

2 療育の状況（つくし園）

単独通園 2 クラス、 親子通園 1 クラス	○年齢、発達状況、親子関係、家庭環境を考慮した個別支援計画を作成
親子通園クラス	○単独クラスへの移行を見据え、親子分離の機会を設けるとともに、登園日数を変更する等、状況に応じたきめ細やかな取り組みを行った。
親子クラスから単独クラスに移行	○保護者の不在による不安がないよう、職員が信頼関係の構築に力を入れた。
基本的な生活習慣の自立に向けて	○食事、排泄、着脱等個々に応じた援助を行うとともに、遊びや様々な行事を通して人との関係性を育み、自己を表現し発揮できるよう配慮し、豊かな心を育む環境を整えた。
設定保育	○個々の発達状況、興味関心によりグループ編成をする等、一人ひとりが集団の中で自分の想いや力を発揮できるような環境づくりに力を注いだ。
多職種で連携	○保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が連携を図って保育を実施した。

（1）行事

実施日	行事名	場 所	参加者（人）		内 容
			園児	保護者等	
4 月 5 日	始業式	園内	14	10	職員挨拶・紹介および連絡事項
5 月 12 日	日曜参観	〃	16	36	日頃保育に参加しにくい家族に参加を促し、日頃の様子の理解を図った。
7 月 5 日	七夕会	〃	17	2	季節の行事として経験の拡大を図った。
7 月 26 日	夕涼み会	〃	13	33	季節の行事として、園内をおまつり会場とし、保護者と共に楽しんだ。
10 月 4 日	遠足 親子クラス	あくあぴ あ芥川	3	5	親子通園クラスの在籍児童の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10 月 9 日	遠足 単独クラス	万博公園	7		単独通園クラスの在籍児童の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10 月 11 日	遠足 単独クラス	よつば 未来公園	9		

11月2日	運動会	鳥飼 体育館	20	74	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月20日	クリスマス会	園内	21	24	友達と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2月8日	生活発表会	〃	22	76	保育で日頃取り組んでいる事を、保護者等の前で発表した。
3月14日	お楽しみ会	〃	15	15	1年の締めくくりとして、親子でプログラムに参加し、一緒にお弁当を食べ、楽しい時間を過ごした。
3月26日	卒園終了式	〃	19	36	卒退園・一年の修了を祝った。

(2) 家庭との連携

行事の参加はもとより以下の取り組みを実施し、児童の成長、発達について共通の認識を持ち、わが子の理解を深めると共に、家庭での育児力を育むことに取り組んだ。

家庭訪問	個別面談
クラス面談	合同親子保育
単独クラス親子保育	保育参観
連絡ノート	園だより
保護者教室(つくしんぼ教室)：消防訓練および救命救急講習、卒園児および在園児 保護者懇談会、子育て講座等	

(3) 進路指導

年長児の保護者を対象	○摂津市教育支援課および大阪府立摂津支援学校の講師を招き、「保護者向け就学説明会」を実施。説明会では、摂津市における就学指導の概要および各学校の教育内容について説明した。
年長児の校区小学校	○就学指導における取り組み、見学・体験入学の主旨や児童の状況等情報共有を図り相互に理解を深めた。小学校への見学・体験入学を依頼し、実施に際しては職員が付き添い支援した。
保護者向け就園説明会	○摂津市保育教育課より、幼稚園・保育所、こども園に対する理解を深め、進路選択の手順を案内。保護者の見学・相談に繋げ、随時個人面談等。療育グループの保護者にも案内した。

(主な進路)

味生小学校、鳥飼北小学校、摂津小学校、味舌小学校、摂津支援学校 等

① 保護者懇談会

(人)

実施日	内 容	保護者
5 月 30 日	幼保進路説明会（摂津市保育教育課 参事）	7
6 月 6 日	就学相談・説明会（摂津市教育センター主事、大阪府立摂津支援学校主事）	4

② 小学校・支援学校小学部

(人)

実施日	対象機関等	内 容	対象児
5 月 13 日	摂津市立味生小学校	説明	1
5 月 27 日	摂津市立鳥飼北小学校	〃	1
5 月 28 日	摂津市立摂津小学校	〃	1
〃	摂津市立味舌小学校	〃	1
6 月 6 日	摂津市立鳥飼北小学校	見学	1
〃	就学説明会・就学相談	説明・相談	3
6 月 10 日	摂津市立味舌小学校	見学	1
6 月 19 日	就学相談	相談	1
6 月 25 日	大阪府立摂津支援学校	見学	4
7 月 10 日	摂津市立摂津小学校	〃	1
10 月 22 日	摂津市立鳥飼北小学校	打合せ	1
10 月 23 日	〃	体験	1
〃	摂津市立味舌小学校	〃	1
11 月 14 日	教育支援会議	会議	4
12 月 6 日	〃 (進路結果について)	結果報告	4
2 月 17 日	大阪府立摂津支援学校	引継ぎ	3
3 月 5 日	摂津市立味舌小学校	〃	1

(4) 健康管理

- ①児童の健康状態を常に把握するため家庭との連携を密に行った。必要に応じて医療機関・保健所と連携し、助言・指導を療育に活用した。
- ②感染症対策：手洗い・手指消毒を継続し、体調の変化に細心の注意を払った。
- ③日々の取り組み：戸外遊びを中心とした身体づくり、歯磨き指導、給食時の食事指導による健康づくりを実施した。

内科医健診	7月22日、11月15日
歯科検診	5月23日
耳鼻科検診	6月27日
尿検査	11月15日

(5) 給食調理

- ①児童の心身の健全な発育を支援するため、栄養バランスに配慮した質の高い給食を提供した。**給食業者に**給食業務を委託し、衛生管理を徹底した。
- ②毎月1回の給食会議において喫食状況や児童の状況に応じた調理形態の工夫を図った。
- ③食物アレルギーを有す児童に対して、可能な範囲で除去食を提供した。
- ④「食」に関する情報を保護者へ提供するため、毎月1回給食だよりと献立表を配布

(6) 通園児の状況

① 通園状況（延べ人数） (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
親子クラス	4	5	4	3	4	4	5	6	6	7	7	6	61
単独クラス	13	13	15	16	16	16	16	16	16	16	16	17	186
園児数計	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	23	247

②年齢別（令和6年4月1日の年齢） (人)

年齢	3才	4才	5才	6才	合計
男	4	9	5	1	19

女	0	1	0	3	4
計	4	10	5	4	23

3 障害児相談支援

児童や保護者等が抱える課題解決と適切なサービス利用に向けてきめ細やかなマネジメントを行い、各関係機関等と連携を密に図り情報の共有に努めた。

令和6年度は、多様なニーズに応え、必要なサービスに繋げる仕組みを強化する「入口支援」を明確化した。

(1) 利用状況

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体障がい	7	8	5	8	7	5	8	2	4	3	7	6	70
重症心身障がい	7	5	0	4	4	5	1	2	2	3	4	3	40
精神障がい	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
知的障がい	41	40	34	40	49	46	64	55	54	63	64	67	617
発達障がい	16	19	24	12	17	16	22	25	23	15	18	24	231
その他	2	1	2	1	1	5	4	4	3	5	7	9	44
合計	73	74	65	65	78	78	99	88	86	89	100	109	1,004

(2) 支援内容

(件)

福祉サービスの利用等に関する支援	2,491
障害や病状に関する支援	13
健康・医療に関する支援	40
不安の解消・情緒安定に関する支援	4
家族関係・人間関係に関する支援	112
保育・教育に関する支援	182
家計、経済に関する支援	5
権利擁護に関する支援	37
その他	303
計	3,187

※延べ利用人数：1,004 人

4 保育所等訪問支援

専門的な知識を持つ訪問支援員が保育所等を訪問し、発達に課題のある児童が、集団生活の中で安心して自分を発揮し、より豊かな経験ができるよう児童への直接的な支援のほか、保育所の職員の方々や児童を取り巻く環境への間接的な支援など、必要なサポートを行った。

○実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
公立こども園	6	9	7	11	8	8	13	13	10	10	9	10	114
私立こども園	9	10	13	13	11	13	14	16	15	17	15	13	159
小学校	3	3	1	1	0	3	1	2	2	1	1	1	19
合計	18	22	21	25	19	24	28	31	27	28	25	24	292

5 くまさん親子教室事業（摂津市委託事業）

摂津市こども家庭相談課から紹介のあった発達や養育上に課題のある1歳から3歳児とその保護者を対象に実施した。

○実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月曜日	0	0	0	0	0	4	11	16	16	12	17	19	95
火曜日	18	25	14	32	20	21	32	23	17	22	13	13	250
水曜日	5	15	14	21	14	19	19	20	14	19	22	15	197
金曜日	10	16	20	15	18	22	12	25	15	25	24	17	219
計	33	56	48	68	52	66	74	84	62	78	76	64	761

6 日中一時支援事業

当センターの児童を対象に、保護者の就労、通院、きょうだい児の学校行事、長期休暇中の余暇支援、保護者のレスパイト支援を目的とし、日中活動の場として受入れを行った。

○利用実績

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数	6	6	5	6	5	7	6	5	6	7	7	5	71

7 各種会議

ケース会議	随時
処遇会議	毎日
総括会議	年度末
摂津市こども家庭相談課との会議（判定会議等）	随時
リーダー会議	月 1 回
給食会議	月 1 回
行事会議	随時

8 災害防止対策

児童と職員の安全を確保するため、自衛消防体制を確立し、災害時の役割分担を周知した。また、火災および地震を想定した避難訓練・総合訓練（消火訓練を含む）を毎月 1 回実施した。災害時のマニュアルや BCP の確認及び周知を行った。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参 加 者			
			園児	保護者等	職員	合計
4 月 19 日	火 災	避 難 訓 練	11	4	18	33
5 月 14 日	地 震	〃	19	6	18	43
6 月 28 日	〃	総 合 訓 練	12	0	10	22
7 月 18 日	火 災	避 難 訓 練	14	1	16	31
8 月 19 日	〃	〃	9	2	18	29
9 月 20 日	〃	〃	16	2	14	32
10 月 17 日	〃	〃	22	9	17	48
11 月 21 日	〃	〃	17	6	18	41
12 月 11 日	〃	避難・通報 ・消火訓練	19	6	16	41
1 月 17 日	地 震	震 災 訓 練	18	13	18	49
2 月 18 日	火 災	避 難 訓 練	23	9	18	50
3 月 13 日	〃	総 合 訓 練	18	2	16	36

9 職員研修

職員の専門性を高めることを目的とし、法人研修を含め毎月1回勉強会を実施した。また、業務に必要な資格取得研修・療育・支援・相談等の資質の向上を目的とした外部研修にも積極的に参加した。不参加の職員には、資料等の配布や伝達研修を実施した。

(1) 外部研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
4月17日	相談支援初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	摂津市自立支援協議会相談支援部会	相談員
6月4日	障害者差別解消法	オンライン	内閣府	〃
6月25日	相談実務担当者のための権利擁護研修	エル・おおさか	大阪府社会福祉協議会	〃
6月21日 ～9月18日 (内5日間)	令和6年度大阪府相談支援従事者初任者研修	動画視聴 ビッグアイ	大阪府障害者福祉事業団	〃
7月3日	相談支援初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	摂津市自立支援協議会相談支援部会	〃
7月23日	令和6年度第一回ヒューマンセミナー「基礎から学ぶ発達障がい理解と支援」	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人権協会	〃
8月1日、 2日	令和6年度防火管理者講習	〃	一般社団法人日本防火・防災協会	副主任
8月17日	令和6年度摂津市平和を考える市民のつどい	摂津市民文化ホール	摂津市	〃
8月19日	係長級労務管理研修	摂津市役所	〃	主幹 主任
8月26日	支援者対象公開講座「発達障がいといじめ」	大阪産業創造館	大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか	相談員
10月2日	相談支援初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	摂津市自立支援協議会相談支援部会	〃
10月7日	摂津市要保護児童対策地域協議会研修会	摂津市役所	摂津市こども家庭相談課	〃

10月17日	令和6年度高齢障がい者支援研修	摂津市地域活動支援センター	摂津市基幹相談支援センター、摂津市地域包括支援センター	相談員
10月21日	障がい者虐待防止・権利擁護研修	たかつガーデン	大阪府福祉部障がい福祉室	施設長代理
11月21日	府民対象公開講座「自分らしく生きるために～発達障がいのある人の自己理解とは～」	動画視聴	大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか	相談員
12月2日～ 12月23日	令和6年度第2回障がい支援区分認定調査員研修	動画視聴	大阪府福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課	〃
12月17日	職員意識改革研修	摂津市役所	摂津市	〃
12月20日	難病児者への災害対策支援研修会	いきいきプラザ	茨木保健所	〃
1月15日	障害者虐待防止研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市自立支援協議会	〃
1月16日	意思決定支援の基礎研修	〃	〃	〃
1月16日～ 2月26日 (内6日間)	令和6年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修	大阪私学会館 マイドーム大阪	大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課	相談員、 保育士
1月24日	カスハラ対応研修	摂津市役所	摂津市	相談員
1月28日	令和6年度大阪府ヤングケアラー支援研修	〃	〃	相談員、 心理士
2月27日	おおさか相談フォーラム	大阪市立阿倍野市民学習センター	大阪府人権協議会	主幹

(2) 内部研修

研修名	
児童福祉法改正について	虐待防止研修

「トリプルP」について	相談支援について
自閉症スペクトラム症の特性の理解と対象児童について	事業継続計画（BCP）
コミュニケーションを育む	手洗い研修（感染症対策） 等

10 施設実習生の受け入れ

(人)

実習期間	学校名等	内容	人数
7月8日～22日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
12月2日～13日	〃	〃	1
2月3日～18日	光華女子大学	〃	1
2月17日～21日	大阪人間科学大学（作業療法）	見 学	1
3月10日～24日	関西学院短期大学	保育実習	1

11 他機関との連携

摂津市子育て支援ネットワーク推進会議	○摂津市における子どもの健全育成とその家族への支援を図るため、各関係機関及び団体が連携して「子どもたちが健やかに生まれ育つための環境作り」を目的とした推進会議が年3回開催され出席した。鳥飼地域の子育て支援団体が連携し実施した「親子ランド in 鳥飼」の会議及び開催にも出席し、地域の子育て支援にも貢献した。
摂津市立第五中学校地域教育協議会	○令和5年度に再開した「たこあげ&ゲーム大会」に参加し、地域の児童や保護者と交流を図った。
摂津市児童発達支援事業所連絡会	○市内の事業所が集まり、全体的な支援体制の向上を目的とした連絡会を開催した。情報交換、スキルアップ、意見交換、各事業所の課題に関する話し合いを行い、今後の取り組みも検討した。
摂津市発達支援担当者会議	○出産育児課が主催する本会議に、こども家庭相談課・こども政策課・保育教育課の発達支援担当者と共に参画し、摂津市における発達支援の課題等について検討を行った。

摂津市要保護児童対策地域協議会	○入園までの経緯及び、入園後の家庭環境や親子関係の様子から、好ましくない家族関係や家庭環境が見受けられた場合は、本協議会と連携を図り、情報交換、役割分担をして子どもの健やかな育成及び家族支援に努めた。
卒園後のフォロー体制	○卒園児、修了児の就学先、就園先担当者と連携を図り、スムーズに新しい生活に移行できるよう、在籍中に参観にきていただき、資料を基に引継ぎを行った。

1 2 感染症等の対策

児童の体調確認、職員の体調管理に努め、マスクの着用や手指の消毒等を任意で実施し、感染症拡大防止対策を講じた。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

II 障害児通所支援施設「めばえ園」

1 概況

めばえ園は、児童福祉法に基づき、発達に課題のある摂津市在住の未就学児に対し「児童発達支援事業」を、就学児に対し「放課後等デイサービス事業」を実施し、地域に根差した身近な発達支援の場として、児童の成長をサポートした。

利用にあたっては、

(1) 併設するつくし園内の相談支援及び行政機関（摂津市出産育児課、こども政策課、こども家庭相談課）での相談受付

(2) 障害児相談支援事業所作成の「障害児支援利用計画書」または保護者作成の「セルフプラン利用計画書」に基づき、個々の児童の課題に合わせた訓練を提供

(3) 理学療法、作業療法、言語療法に加え、親子教室である「療育グループ」を含み、保護者との連携を密に図りながら進め、児童の心身その他の状況に応じ、生活に関する相談や助言等も行った。

令和6年度は、摂津市出産育児課、こども家庭相談課、教育支援課からの協力依頼による観察・評価ケースを80件対応し、関係機関との情報共有や連携に努めた。

2 サービスの状況

理学療法	発達段階に応じた個別訓練を実施し、感覚・運動機能の障害に対する訓練指導を行った。児童の生活環境や家族関係への指導・助言により、保護者の安心感と訓練効果の向上に繋げた。
作業療法	知覚・認知・概念の学習・日常生活動作指導・手指機能訓練を主体的に行った。児童の生活環境や場面に応じた指導・助言も実施し、訓練指導を通じて行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大を促し、場面適応能力の改善が見られた。発達段階に応じた個別訓練とグループ訓練を実施した。児童の所属園・学校との連携を図った。
言語療法	口腔・聴覚器官およびそれらを制御する中枢器官に課題のある児童に対し、早期からの発達支援として伝達、思考、記憶への援助を行い、公認心理師との連携により心理的サポートも実施した。
療育グループ	健診後のフォローアップとして、出産育児課からの紹介等に基づき、週1回の親子教室を実施。保育士・言語聴覚士・作業療法士・公認心理師が、児童の困り感へのアプローチに加え、育児に悩む保護者に対し多角的な支援を行うとともに、発達に応じた進路相談を実施し

	た。幼稚園生活等に不安を感じる保護者のニーズに対応 するため、3 歳児対象の午後グループも開始した。
送迎サービス	利便性向上を図るため、ニーズに応じてつくし園の通園バスによる送迎サービスを実施した。
家庭との連携	訓練には保護者同伴を原則とし、訓練の様子を共有することで、児童への理解と発達段階の認識を深めた。担当職員と保護者が学習・成長過程を共有し、児童への理解と受容を促進するための助言を行うとともに、保護者の心理的な負担軽減に努めた。

(1) 関係機関との連携

児童の所属小学校教諭等が訓練を見学し情報共有を行ったほか、保育教育課の保育所巡回指導に公認心理師と作業療法士が同行し、助言や意見交換を行った。必要に応じて発達検査を実施し、保護者の同意のもと「教育支援会議」に出席し、情報提供及び助言を行った。

①保育所巡回指導

実施日	対象機関
5 月 21 日、9 月 25 日	わかば保育園
5 月 7 日、9 月 17 日	認定こども園 せつつ遊育園
5 月 10 日、9 月 10 日 12 月 18 日（一日保育）	摂津さつき保育園
5 月 20 日、9 月 2 日	認定こども園 KENTO ひまわり園
5 月 24 日、10 月 2 日	摂津ポッポせんりおか保育園
5 月 27 日、10 月 28 日	認定こども園 摂津市立子育て総合支援センター
5 月 31 日、6 月 25 日 11 月 8 日	摂津認定こども園 摂津市立べふこども園
6 月 3 日、10 月 7 日	認定こども園 みなみせんりおか遊育園
6 月 6 日、10 月 24 日	認定こども園 摂津市立とりかいこども園
6 月 7 日、9 月 5 日	鳥飼さつき園
6 月 10 日、9 月 3 日	つるのひまわり園
6 月 11 日、9 月 27 日	認定こども園 こどもの杜藤森学園
6 月 12 日、9 月 6 日	認定こども園 正雀ひかり園
6 月 13 日、9 月 18 日	認定こども園 せつつあそびまち遊育園
6 月 20 日、9 月 6 日	認定こども園 摂津ひかり保育園
6 月 20 日、10 月 11 日	認定こども園 一津屋愛育園

②引継ぎ等を行った小学校

鳥飼小学校	鳥飼北小学校
鳥飼東小学校	鳥飼西小学校
三宅柳田小学校	味生小学校
味舌小学校	千里丘小学校
別府小学校	

③引継ぎ等を行った認定こども園・保育園・幼稚園

摂津ひかり幼稚園	とりかいこども園
べふこども園	摂津ひかり保育園
正雀ひかり園	千里丘学園幼稚園
つるのひまわり園	みなみせんりおか遊育園
摂津ひかりにこにこ保育園	大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園
摂津市立子育て総合支援センター	

(2) 訓練の契約人数

(人)

訓 練	作業療法	言語療法	理学療法
人 数	60	70	8

(3) 公認心理士による発達検査

児童の発達段階や特性を見立て、適切な対応を検討する目的で検査を実施した。検査結果は保護者に伝え、必要に応じて同意または希望に基づき、所属園や進路先等の関係機関に情報提供を行った。

(実施状況)

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	7	11	15	8	11	5	4	3	1	1	4	2	72

3 健康管理

児童の健康状態を把握するため、常に保護者と連絡を取り合い、必要に応じて医療機関や担当保健師と連携し、助言・指導を訓練に活かした。感染症対策には特に注意を払い、保護者・児童に対し、任意で手洗い・手指消毒の励行などの体調管理をお願いした。

4 通園児の状況

(人)

月	開所日数	未就学児 (児発)	就学児 (放デイ)	合 計
4	23	109	71	180
5	22	107	62	169
6	22	120	59	179
7	23	133	88	221
8	23	138	76	214
9	21	146	51	197
10	24	153	54	207
11	22	169	47	216
12	22	192	44	236
1	20	170	46	216
2	20	168	43	211
3	20	179	47	226
合計	262	1,784	688	2,472

5 サービス別の利用状況

(人)

月	サ ー ビ ス 別						観察	つくし 個別 指導	延べ人数	
	理学療法		作業療法		言語療法					グ ル ー プ 訓練
	放	児	放	児	放	児				
4	1	10	44	70	26	21	8	15	0	195
	11		114		47					
5	0	4	37	70	25	19	14	7	9	185
	4		107		44					
6	0	8	41	82	18	20	10	8	4	191
	8		123		38					
7	1	10	64	78	23	24	21	10	5	236
	11		142		47					
8	1	8	57	86	18	26	18	6	5	225
	9		143		44					
9	1	9	35	87	15	27	23	1	5	203
	10		122		42					

10	0	4	34	94	20	23	32	14	5	226
	4		128		43					
11	2	8	27	96	18	24	41	7	5	228
	10		123		42					
12	2	10	32	113	10	30	39	3	5	244
	12		145		40					
1	2	5	33	100	11	25	40	5	5	226
	7		133		36					
2	1	6	25	107	17	20	35	13	3	227
	7		132		37					
3	0	0	31	120	16	30	29	17	6	249
	0		151		46					
計	11	79	460	1103	217	289	310	106	57	2,635
	93		1,563		506					

6 各種会議

ケース会議	随時
処遇会議	毎日
総括会議	年度末
リーダー会議	毎月1回
行事会議	随時
摂津市こども家庭相談課会議（判定会議等）	〃
給食会議	月1回

7 災害防止対策

児童と職員の安全を確保するため、自衛消防体制を確立し、災害時の役割分担を周知した。また、火災および地震を想定した避難訓練・総合訓練（消火訓練を含む）を毎月1回実施した。つくし園事業報告（7）を参照

災害時のマニュアルおよびBCPの見直し、施設内研修を実施した。

8 職員研修

※つくし園事業報告「（8）職員研修」に記載

9 感染症等の対策

児童の体調確認、職員の体調管理に努め、マスクの着用や手指の消毒等を任意で実施し、感染症拡大防止対策を講じた。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

4. 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

1 概況

ひびきはばたき園では、障害者総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

（1）生活介護

昨年に引き続き自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して、構造化を用いた支援を行った。落ち着いた環境の中で生産活動に取り組めるよう、作業室の整備を行った。

（2）就労継続支援B型

- ①「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」
- ②施設外就労「食品トレイ選別等業務」
- ③その他請負作業とシール貼り作業

（3）自立訓練

送迎サービスを利用されていた利用者への登園支援

（4）施設開放日（新たな取組）

家族が普段の様子を見学して、理解してもらう機会として施設開放日を設けた。

7・8・9月に3回実施して、合計24人の参加があった。

（5）環境整備

- ①トイレ温水器増設工事
 - ②照明機器の修理
 - ③エアコンの入れ替え
 - ④作業室扉の交換
- 等

2 支援の状況

（1）生活介護（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援計画	多様化した個々のニーズに応じるため、半年に一度個別支援計画の作成・見直し、個別アプローチを提供した。
支援者づくり	一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティア受け入れ、制度・サービスの活用に努めた。
日中活動の充実	いきいきクラス 理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラクスタタイム・気候に応じた外気浴等 わくわくクラス 集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、運動・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーション等

日中活動の充実	うきうきクラス 安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ、運動・散歩・レクリエーション等 のびのびクラス 作業手順や見通しの立つスケジュールを提示する構造化を行った。 生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーション等 かがやきクラス 健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。調理訓練・個別作業・集団体操等多彩なプログラムを提供
---------	---

①生産活動（収入状況） (円)

内 容	事業所	年間収入
シール貼り作業	(株)フレッシュファーム	29,196

②工賃支給状況 (円)

工 賃 支 給 総 額	利用者数	平均工賃/年
29,196	9 人	3,244

(2) 就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、支援学校や関係機関への啓発活動に重点を置き、新規利用者獲得に取り組んだ。

①就労継続支援B型

障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供に努め「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んだ。さらに、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業内容の拡大を図った。

②自立訓練（生活訓練）

地域で暮らすために必要な基礎的な生活力を向上させる目的で、調理訓練や身だしなみ、地域外出訓練等のカリキュラムを実施した。B型の作業を訓練資源として活用による、働くことへの意識づけや就労準備における基礎作りを行った。

作業訓練と還元金	陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電リサイクル事業）と食品トレイ選別業務など幅広い作業に取り組んだ。還元金支給取扱い要綱を基に工賃を配分した。
生活支援プログラムの充実	個々のニーズに即した生活支援や自治会・情報提供・運動等を実施

作業指導	陶芸 市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。
	軽作業 株式会社ダイキンサンライズ摂津：電気部品のコード巻き作業 株式会社フレッシュファーム：シール貼り作業 株式会社エッグ住まいる工房：ダイレクトメール袋詰め作業 食品トレイ選別等業務 摂津市リサイクルプラザ：食品トレイの分別・選別作業 小型家電リサイクル事業 パソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレス、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を国内循環して社会貢献

③生産活動（収入状況）

（ア）就労移行

（円）

内 容	事業所	年間収入
陶芸作業		480,900
その他	カネカ労働組合大阪支部等	171,200
収 入 合 計		652,100

（イ）就労継続支援B型

（円）

内 容	事業所	年間収入
清掃作業	(株)セラ	184,800
空缶・古紙回収		39,605
電気部品の加工作業	(株)ダイキンサンライズ摂津	510,140
建設会社DM作業	エッグ住まいる工房	53,630
シール貼り作業	(株)フレッシュファーム	92,377
小型家電解体作業	摂津市役所、一般持ち込み等	485,862
食品トレイ選別作業	摂津市役所	8,320,490
収 入 合 計		9,686,904

④工賃支給状況

(就労継続支援B型)

(ア) 食品トレイ選別作業

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	830,700	8	103,838
5	815,790	8	101,974
6	746,920	8	93,365
7	834,250	8	104,281
8	584,330	7	83,476
9	615,570	7	87,939
10	799,460	8	99,933
11	685,860	8	85,733
12	676,630	8	84,579
1	602,080	8	75,260
2	557,350	7	79,621
3	571,550	6	95,258
合計	8,320,490	91	91,434

(イ) 軽作業

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	75,625	9	8,403
5	75,476	9	8,386
6	73,096	9	8,122
7	73,000	9	8,111
8	75,159	9	24,760
一時金	147,678		
9	73,811	10	7,381
10	71,183	10	7,118
11	70,455	10	7,046
12	81,527	10	22,924
一時金	147,716		
1	78,500	11	7,136
2	85,000	11	7,727
3	85,139	11	37,836
一時金	331,052		
合計	1,544,417	118	13,088

(円)

工賃支給総額(食品トレイ選別作業+軽作業)	一人当たりの平均工賃 / 月
9,864,907	47,201

3 行 事

(1) 生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練） (人)

実施日	行事名	内 容	場 所	参加人数
10 月 13 日	風船バレーボール大会	市内事業所が集い、風船バレーを楽しみ交流を深めた。	味舌体育館	生活介護 8 就労 B 型 6 自立訓練 1
11 月 30 日	スポーツフェスタ 2024	法人スポーツイベント	〃	生活介護 11 かがやき 4 就労 B 型 8 自立訓練 1
12 月 19 日	ジャンボクリスマス会	クリスマス装飾の中、ゲームを全サービス合同で実施	作業室	生活介護 30 かがやき 2 就労 B 型 16 自立訓練 4
2 月 15 日 ～20 日	つくっ展と輝けコンサート	作品展とコンサート	摂津市立コミュニティプラザ	200

(2) 生活介護 (人)

実施日	行事名	内 容	場 所	参加人数
5 月 22 日 6 月 26 日 7 月 10 日 8 月 8 日 9 月 25 日 10 月 21 日 11 月 6 日 12 月 9 日 20 日 2 月 21 日	おやつ作り	利用者のニーズに合わせて調理に参加し、楽しく会食した。	調理室	32

6月18日	懇親会	利用者・ご家族・職員で親睦を深める。	作業室 C	32
7月25日 8月2日 9日、29日	園外活動	利用者の希望に沿って、外出を企画した。	ダスキンミュージアム	12
10月2日			京阪錦鯉センター	3
10月8日			ニフレル	4
10月23日			伊丹スカイパーク	3
11月25日			万博記念公園	3
12月5日、 10日、11日	園外活動	利用者の希望に沿って、外出を企画した。	安満遺跡公園	8
3月12日	スプリング フェスタ	利用者・家族・職員が参加した音楽療法士のコンサート	作業室 C	30

(3) 生活介護かがやき

① 食事会

(人)

実施日	行事名	内 容	場 所	参加人数
7月4日 5日	かがやき食事会	外食を楽しむ	かごの屋 寝屋川店	5

② 園外活動

(人)

実施日	行事名	内 容	場 所	参加人数
12月12日 13日	かがやき園外活動	ショッピングモールで買い物	ららぽーと門真	3

③ 調理訓練

(人)

実施日	行事名	内 容	場 所	参加人数
5月17日 6月27日 7月12日 9月12日 10月11日 11月28日 12月20日 1月17日 2月20日 3月14日	かがやき調理訓練	園で調理した手作りおやつを提供	調理室	28

(4) 就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

(人)

実施日	行事名	内 容	場 所	参加人数
11 月 5 日 7 日	体験学習	歴史や文化に触れる	国立民族学博物館 エキスポシティ	B 型 15 自立 4

4 家庭との連携

(1) 生活介護・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援 B 型は年 2 回、自立訓練（生活訓練）は年 4 回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し信頼関係を築き、問題解決を図った。
機関紙	3 カ月ごと 発行	予定や園活動を掲載し、3 カ月ごとに発行した。
月課表	毎月 1 日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	連絡帳を補助する手段として、必要に応じて電話連絡した。
施設 開放日	7 月 9 日 8 月 21 日 9 月 19 日	令和 6 年度の新たな取組で、家族が普段の様子を見学して、理解してもらう機会として施設開放日を設けた。実施にあたっては、家族が参加しやすいように日程調整を行い、7・8・9 月に 3 回実施して、合計 24 人の参加があった。
その他	適 時	送迎時間の変更や個別での送迎等、家族からの要望に可能な限り迅速に対応した。

(2) ショートステイ先との連携

ショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

(3) 医療との連携

個々に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

5 法人内他施設との連携

(1) 障害者職業能力開発センター、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとの連携

求人や就労活動の情報提供を密に行い、円滑な支援ができるように連携を図った。

(2) みきの路との連携

双方の行事への参加等、利用者や職員が交流できるように連携会議を実施

6 健康管理

今年度も感染症予防・感染拡大防止のため、手洗いの励行・健康状態の把握・家庭との連携で健康管理を図った。感染症の陽性者が発生した場合に関係機関と迅速に連携しながら対応し、感染対策マニュアル・感染症指針に沿って感染予防・拡大防止に努めた。

健康診断

内科医健診	7月22日・11月15日
歯科健診	11月8日
検 尿	5月10日、9月17日
血圧・脈拍測定	随 時

7 給食の提供

(1) 給食

利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。

(2) 給食会議

給食業務を給食業者に委託して21年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。

(3) 給食における「食生活の指針」を立て、次のとおり実施した。

給食会議の充実	「給食だより(献立表)」の発刊(月1回)
---------	----------------------

残食検査の実施	食事提供状態の充実
衛生管理の充実	利用者給食会議
家族への試食会（11月15日）	

8 利用者の状況

（１）通所状況（在籍者数は月初の人数）

①生活介護 (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在籍者数	39	38	38	37	37	36	36	36	36	36	36	36	
支援日数	21	21	20	22	21	19	23	21	20	19	19	20	246
延べ 利用人数	648	650	633	681	600	560	660	589	558	507	511	539	7,136

②生活介護（かがやき） (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在籍者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
支援日数	21	21	20	22	21	19	23	21	20	19	19	20	246
延べ 利用人数	42	44	40	47	44	40	45	45	37	39	39	35	497

③就労継続支援B型 (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在籍者数	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	
支援日数	21	21	20	22	21	19	23	21	20	19	19	20	246
延べ 利用人数	327	322	297	335	278	263	327	325	301	283	282	322	3,662

④自立訓練（生活訓練） (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計

在籍者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
支援日数	21	21	20	22	21	19	23	21	20	19	19	20	246
延べ 利用人数	81	76	73	73	55	58	66	67	67	51	54	54	775

(2) 年齢別 (令和7年3月31日現在)

①生活介護 (人)

年齢 性別	18～19 才	20～29 才	30 才～39 才	40 才～	合計
男	1	1 4	7	5	27
女	0	1	5	2	8
計	1	1 5	1 2	7	35

②生活介護かがやき (人)

年齢 性別	30～39 才	40～49 才	50～59 才	60～69 才	70～79 才	80～89 才	合計
男	1	0	2	0	0	0	3
女	0	0	1	0	2	0	3
計	1	0	3	0	2	0	6

③就労継続支援 B 型 (人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	合計
男	0	3	2	6	11
女	0	0	0	7	7
計	0	3	2	13	18

④自立訓練 (生活訓練) (人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	合計
男	2	2	0	0	4
女	0	0	0	0	0
計	2	2	0	0	4

(3) 手帳の所持

①療育手帳 (令和7年3月31日現在)

(ア) 生活介護

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	合計
男	26	0	0	27
女	8	0	0	8
計	34	0	0	35

(イ) 就労継続支援 B 型

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	合計
男	5	5	1	11
女	1	5	1	7
計	6	10	2	18

(ウ) 自立訓練 (生活訓練)

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	合計
男	1	3	0	4
女	0	0	0	0
計	1	3	0	4

②身体障害者手帳 (令和7年3月31日現在)

(ア) 生活介護

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
男	1	6	0	1	8
女	1	0	0	1	2
計	2	6	0	2	10

(イ) 生活介護かがやき

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
男	2	1	0	0	3
女	1	2	0	0	3
計	3	3	0	0	6

③障害支援区分（令和7年3月31日現在）

（ア）生活介護（人）

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	合計
男	10	9	7	1	27
女	2	2	4	0	8
計	12	11	11	1	35

（イ）生活介護かがやき（人）

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	合計
男	0	0	3	0	0	3
女	0	1	0	0	2	3
計	0	1	3	0	2	6

9 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

職員会議	随 時
リーダー会議	〃
給食会議	毎月1回
ケース会議	随 時
虐待防止・権利擁護委員会	〃
サービス向上委員会	〃
作品展実行委員会	〃

10 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の職員の役割分担を明確化、緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）を年1回実施した。その他、水害を想定しての避難訓練も実施した。

(人)

実施日	想定 災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活 介護	就労 移行	就労 B 型	自立 支援	
4 月 11 日	火災	避難訓練	24	0	8	4	19
5 月 16 日	〃	〃	25	0	8	3	17
6 月 13 日	〃	〃	24	0	8	4	19
7 月 18 日	〃	避難訓練	23	0	7	4	17
7 月 23 日	〃	消防総合訓練	22	0	8	2	20
8 月 22 日	〃	避難訓練	25	0	9	3	16
9 月 12 日	〃	〃	24	0	7	3	15
10 月 10 日	〃	避難訓練	20	0	9	3	16
11 月 13 日	〃	〃	24	0	9	2	18
12 月 16 日	〃	〃	22	0	8	2	18
1 月 17 日	震災	〃	21	0	8	3	16
2 月 13 日	火災	〃	23	0	9	2	15
3 月 11 日	震災	〃	23	0	10	3	14
3 月 17 日	水害	水害想定避難訓練	4	0	4	2	6

1 1 職員研修

(1) 機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
4 月 5 日	新規採用職員指導者研修	摂津市役所	摂津市	施設長 代理
5 月 15 日	安全運転管理者講習会	高槻市立生涯センター	大阪府公安委員会	施設長
5 月 31 日	障害者支援を取り巻く 諸課題と今後の展望	ホテルアウィーナ 大阪	一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会	〃
6 月 6 日	ロジカル伝達術研修	摂津市役所	摂津市	支援員
6 月 26 日	新規採用職員人権連続 研修「女性と人権」、「ハンセン病問題」	摂津市立コミュニ ティープラザ	〃	〃
7 月 17 日	新規採用職員人権連続 研修「平和と人権」	摂津市役所 摂津市平和公園	〃	〃

7月23日	第1回ヒューマンセミナー「基礎からより深くまで発達障がい理解と支援を学ぶ」	摂津市立コミュニティープラザ	摂津市人権協会	施設長代理、支援員
7月25日	ファシリテーション能力向上研修	摂津市役所	摂津市	支援員
8月6日	第47回てんかん基礎研修	ふれあいの里（オンライン）	公益社団法人日本てんかん協会	〃
8月19日	労務管理研修	摂津市役所	摂津市	施設長主幹
8月28日	新規採用職員人権連続研修「子どもの人権」	〃	〃	支援員
9月11日	新規採用職員人権連続研修「高齢者と人権」「現地研修事前学習」「グループ人権課題研究発表」	摂津市役所	摂津市	支援員
9月17日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎）	大阪府教育会館たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
10月17日、18日	令和6年度サービス管理責任者等基礎研修	大阪府社会福祉会館	大阪府地域福祉推進財団	〃
10月18日	新規採用職員人権連続研修「同和問題について」（フィールドワーク）	大阪市浪速区周辺	摂津市	〃
10月30日	新規採用職員フォローアップ研修	摂津市役所	〃	〃
11月1日	新規採用職員指導者フォローアップ研修	摂津市消防本部	〃	施設長代理
11月21日	府民対象公開講座「自分らしく生きるために～発達障がいのある人の自己理解とは～」	ふれあいの里（オンライン配信）	大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか	支援員
11月22日	新規採用職員人権連続研修「外国人（在日コリア）について同和問題について」（フィールドワーク）	大阪市鶴橋周辺（コリアタウン）	摂津市	〃
12月4日	新規採用職員人権連続研修「障がいのある人と人権」「グループ人権課	摂津市役所	〃	〃

	題研究」			
12月17日	令和6年度強度行動障がい支援者養成研修（実践）	大阪府教育会館たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
12月17日	職員意識改革研修～モチベーション・仕事のスタイル～	摂津市役所	摂津市	〃
12月19日	令和6年度大阪府サービス管理責任者等実践研修	国際障害者交流センタービッグ・アイ	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
12月20日	令和6年度大阪府サービス管理責任者等実践研修	〃	大阪府地域福祉推進財団	〃
1月10日	新規採用職員人権連続研修「ことばと差別」「グループ人権課題研究・討議」	摂津市役所	摂津市	支援員
1月15日	障害者虐待防止研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会・摂津市	施設長代理
1月24日	カスタマーハラスメント対応研修	摂津市役所	摂津市	支援員
1月27日～29日	令和6年度第3回就業基礎研修	クラブウ本社ビル	高齢・障害・求職者雇用支援機構	〃
1月28日	障害のある人の質の高い就労生活を実現するための就労定着支援実践セミナー	ふれあいの里（オンライン配信）	高松大学発達科学部子ども発達学科	〃
2月8日、9日	SST 研修	大阪府社会福祉会館	兵庫 SST 研究会	〃
2月18日	新規採用職員人権連続研修「グループ人権課題の研究発表」	摂津市役所	摂津市	〃
2月28日	第2回ヒューマンセミナー「精神障がいへの理解を深める～正しい理解と地域支援～」	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人権協会	施設長、支援員

(2) 専門研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
6 月 6 日	茨木保健所管内集団給食研究会	茨木保健所	大阪府	栄養士
7 月 25 日	食中毒予防講習会	〃	〃	〃
12 月 25 日	摂津市栄養士連絡会	摂津市役所	摂津市	〃

(3) 施設内研修

研修日	研修名	講 師	職 種
9 月 18 日	令和 6 年度衛生研修	(株) イーズニック	施設長他

1 2 その他

(1) ボランティア受け入れ状況

つくっ展と輝けコンサート	関西電気労働組合北摂支部	4 人
--------------	--------------	-----

(2) 実習生の受け入れ状況

(人)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
7 月 29 日～31 日	茨木支援学校	生活介護	1
8 月 26 日～27 日	摂津支援学校	生活介護	1
9 月 9 日～13 日	摂津支援学校 (アセスメント実習)	就労移行	1
10 月 7 日～11 日	〃	〃	1
10 月 10 日～11 日	茨木支援学校	生活介護	1
10 月 15 日～17 日	〃	〃	1
10 月 28 日～31 日	摂津支援学校 (アセスメント実習)	就労移行	1
11 月 11 日～15 日	〃	〃	1
11 月 18 日～22 日	摂津支援学校 (アセスメント実習)	〃	1
11 月 21 日	茨木支援学校	生活介護	1

11月25日	〃	〃	1
12月3日	〃	〃	1
12月9日	〃	自立訓練	1
12月16日～20日	摂津支援学校	就労移行	1
1月20日～24日	摂津支援学校 (アセスメント実習)	〃	1
1月20日～24日	摂津支援学校	〃	1
1月20日	〃	生活介護	1
1月31日	〃	〃	1
2月25日～27日	〃	自立訓練	1
3月17日～19日	ウイング (アセスメント実習)	就労移行	1
3月18日、21日、25日	慶徳会障がい者相談支援センター (アセスメント実習)	〃	1

(3) アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

5 摂津市立身体障害者・老人福祉センター

1 概況

『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』の施設スローガンを掲げ、職員と利用者間の結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気大切に、安心して安全に利用してもらえるような施設づくりに力を注いだ。施設の立地状況から“市内無料巡回バスセッピー号”や路線バスの到着時刻に合わせて事業開始時間を設定した。そして、職員は利用者にとっての「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」に寄与するとともに、“目配り・気配り・心配り”を大切にしながら、きめ細やかな視点を持ち利用者に寄り添った。

(1) 主要事業

①「福祉センターの活動を知って体験しよう 2days」

いきいきカレッジ（老人大学）とコラボレーションし、プロの童謡歌手・ピアニストを招き秋風コンサートを催し、参加者に変好評であった。各活動団体の活動成果披露やPRをしていただく機会とし、軽スポーツやクラフトのほか、スマホ相談会、陶芸、書道、太極拳等の体験を通して、新たな利用に繋げる目的で実施した。

②「第 36 回ふれあいの里バスツアー」

大型バス 1 台を貸切り、淡路・鳴門方面への旅を実に 5 年ぶりに実施した。

(2) 大規模修繕工事

7 月～10 月（4 カ月間）に大規模修繕工事（外壁塗装・屋上防水・トイレ改修）を実施し、快適に気持ちよく利用していただきやすい環境となった。

(3) 情報発信

「公式 LINE アカウントの活用(配信 83 回／年)」や「施設ホームページの充実(更新 43 回／年)」を行い、事業のお知らせや活動風景写真を掲載する等の取り組みを行った。また、利用者に施設ホームページの閲覧方法やスマートフォンの使い方レクチャーを日常的に実施した。

(4) 自主グループの支援

これまでと同様に、同好会等の自主グループ運営の支援を行った。

2 年間主要行事の実施状況

(1) 年間主催事業

①主催事業

(人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
男性のための 筋トレ&ストレッチ教室	5月18日～3月15日(20回) 毎月第1・3土曜日 9:00～10:20	18
男性のための体操教室	5月23日～3月27日(20回) 毎月第2・4木曜日 10:30～11:30	10
健康体操(新規)	4月11日～3月27日(23回) 毎月第2・4木曜日 12:45～13:45	12
カラオケ教室	4月3日～3月19日(24回) ①毎月第1・3水曜日 10:00～12:00	13
	4月3日～3月19日(24回) ②毎月第1・3水曜日 12:45～14:45	10
エアロバイク講習会	7月11日・10月31日 計2回	8

②受託事業

(ア) つどい場事業

(人)

講 座 名	実 施 期 間	年間参加者数
つどい場&カラオケ教室	4月3日～3月26日(50回) 毎週水曜日 10:00～12:00	1,202 ボランティア 424

(イ) いきいきカレッジ(老人大学)

『人生はこれからだ! どんどん広げよう 友達の輪・地域の輪』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいつくりと仲間づくりを行う場として開講した。

(人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
いきいきカレッジ(老人大学)	8月23日～12月13日(全17回) 毎週金曜日 10:30～15:00	24

○ 一般教養科目

月 日	講 演 名	講 師 名
9月6日	『人生は“楽しむため”にある ～みんなで頭と心のストレッチ～』	レクリエーション・コーディネーター 郡 眞由美 氏

9月20日	『備えて安心！誰でも出来る “非常用トイレづくり”』	おもしろ防災アドバイザー 防災士 南 あきこ 氏
10月4日	『いつでもどこでも指ヨガ』 ～脳を活性化しましょう～	健康運動指導士 木下 友恵 氏
10月18日	『健康長寿はお口から』	歯科衛生士 斉藤 星子 氏
11月1日	『美しい日本のうた秋風コンサート』	童謡歌手 田中 久美子 氏 田中 美也子 氏
11月15日	『今を大切に生きるために』 (エンディングノート遺言書)	りそな銀行 営業サポート統括部 折戸 一敬 氏
11月29日	『ビジョントレーニング』	(一財)ビジョントレーニング 協会 認定インストラクター 吉田 直樹 氏
12月6日	『交通安全の話』	摂津警察署交通課 摂津市道路交通課

※社会見学(大型バス1台) 9月27日 行き先:舞子海上プロムナード・ナナファーム
北野プラザ六甲荘・異人館街・人と防災未来センター・甲南資料館

※終日専門科目 9月13日、10月11日、10月25日、11月8日、11月22日 実施

○ 専門科目

科 目	内 容
ものづくりを 楽しんでみよう科	①ミニらんま作りにチャレンジ ②ポーセリンペイント(磁器絵付け)にチャレンジ ③銅板レリーフ作りにチャレンジ
笑顔で体操しよう科	[実技及び座学] ・正しい筋力トレーニングの方法 ・エアロビクスで体を動かす ・膝痛、肩こり、腰痛予防改善体操 ・認知症エクササイズ(脳トレ) ・正しいウォーキング方法 ・転倒予防体操(バランストレーニング) ・ロコモ、フレイル予防 ・自律神経の話 ・体の生理学
パソコン&スマホを もっと知ろう科	・入力の基礎・Windows について ・Word [・文書編集、書式設定 ・表の作成と編集 ・グラフィックスの利用、応用 ・スマホ、デジカメからの写真撮り込み・パソコンの整理 ・スマホアプリ【Pay Pay(電子マネー)やLINE等】を使ってみよう ・ChatGPT が広げる新しい世界をパソコンとスマホで体験 ・電子メールの利用 ・インターネットでプログラムをダウンロード、インストール

	・インターネットショップの利用体験 ・年賀状の作成(ワード) ・スマホで年賀状作成、LINE で送信・ YouTube 動画を LINE 送信
--	--

※12月13日にふれあいの里に於いて閉講式・学習成果発表を行った。

○いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

（申込者数）

（人）

専門科目	男性	女性	合計
ものづくりを楽しんでみよう科	1	3	4
笑顔で体操しよう科	2	10	12
パソコン&スマホをもっと知ろう科	2	6	8
合 計	5	19	24

（受講者数）

（人）

専門科目	人 数
ものづくりを楽しんでみよう科	4
笑顔で体操しよう科	12
パソコン&スマホをもっと知ろう科	8
合 計	24

③短期主催事業

（人）

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
スマホ講座	【第1回】※各火曜日 13：00～15：00 5月7日・14日・21日	6
	【第2回】※各金曜日 10：00～12：00 7月5日・12日・19日	6
	【第3回】※各木曜日 10：00～12：00 10月3日・10日・17日	6
	【第4回】※各金曜日 13：00～15：00 1月10日・17日・31日	6
	【第5回】※各土曜日 10：00～12：00 3月8日・15日・22日	6

初心者のための 短期パソコン教室	【第1回】※各火曜日 10:10～12:10 6月4日～8月6日（全10回）	10
	【第2回】※各火曜日 10:10～12:10 10月15日～12月17日（全10回）	5

④単発事業

(人)

実施期間	事業名	場 所	内 容	参加者
7月31日	多世代交流会 &つどい場 (各施設をリ モートで繋い で実施)	2階集会室 作業訓練室	くるくるモバイル作り・体操・脳 トレを実施。児童センターけん玉 クラブ・リコーダークラブ所属の 児童が来所し披露 (つどい場・児童センター・児童 発達支援センター・みきの路)	身老センター 49 児童センター 15(来所) リモート参加 86
10月31日 、11月1日	福祉センター の活動を 知って体験 しよう 2days	1階2階全 室・陶芸室	軽スポーツやクラフト、スマホ相 談会、エアロバイク講習会、陶 芸、書道、太極拳等の体験、更に いきいきカレッジとのコラボで童 謡コンサートを開催	延べ 388
2月6日 ～2月7日	第36回 ふれあいの里 バスツアー	淡路・鳴門 方面	大型バス(1台)で、淡路・鳴門方 面への旅を5年ぶりに実施	31名 (3名キャンセル)
2月17日 ～3月7日	作品展示	1階相談 室・廊下	活動成果発表及び活動紹介の機会 として、陶芸・書道・パソコン・ 手芸等の作品を出展	延べ 222 (準備・片付 を含む)

(2) 同好会活動等

(人)

同 好 会 名	活 動 日	会 員 数
陶芸同好会	(1組)毎週火・木曜日	15
	(2組)毎週水・土曜日	21
さわやかマンデー	第1・3月曜日	16
え～やろ仲良会	第2・4月曜日	19
書道悠墨会	第2・4火曜日	17
健康体操A B C D	A 第1・3木曜日	9

	B 第2・4木曜日	12
	C 第1・3木曜日	8
	D 第1・3木曜日	15
パソコン同好会	第2・4水曜日	8
いきいきふれあいの会	毎週 火曜日	16
太極拳同好会	毎週 土曜日	4
パソコン撫子会	第1・3火曜日	8
パソコン44会	第2・4火曜日	12

(3) その他の利用団体

(人)

団 体 名	活 動 日	会員数等
46期パソコン科OB	第2・4水曜日	9
パソコンあじさい	第2・4木曜日	9
48期パソコン科OB	第2・4火曜日	8
カラオケ愛好会	毎週土曜日	6
つどい場運営 ボランティア	毎週水曜日	6
手芸ボランティア	第1・2月曜日 第4・5水曜日	11

3 利用者の月別状況

(人)

月	主催事業	つどい場		いきいきカレッジ	短期・単発事業	同好会	健康体操A B C D	個人・団体	手芸ボランティア	エアロバイク利用関係	保健センター事業	合 計
		参加者	ボランティア									
4	38	87	31			291	86	109	18	47		707
5	58	105	45		18	254	79	74	18	45	5	701

6	70	95	35		38	297	82	73	18	39	29	776
7	71	118	45		62	282	83	93	19	68	42	883
8	74	61	25	44	9	163	80	40	18	9	55	578
9	66	90	36	95		258	79	88	19	36	46	813
10	61	139	48	92	246	247	76	71	18	40	48	1,086
11	78	103	33	119	190	288	76	69	15	35	43	1,049
12	35	90	32	47	10	269	66	94	17	33	43	736
1	59	111	39		18	258	75	114	16	27	36	753
2	53	95	28		171	250	62	138	16	27	42	882
3	72	108	27		68	264	49	80	16	28	31	743
合 計	735	1,202	424	397	830	3,121	893	1,043	208	434	420	9,707

4 年齢別利用証交付状況

(人)

	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 100 歳	合 計
男	0	3	7	16	22	14	0	0	62
女	3	9	46	64	60	11	2	1	196
合 計	3	12	53	80	82	25	2	1	258

5 地区別利用証交付状況

(人)

	鳥飼北	鳥飼南	味 生	味 舌	千里丘	合 計
男	19	16	10	4	13	62
女	101	66	13	7	9	196
合 計	120	82	23	11	22	258

6 身体障害者手帳等級別利用状況

(人)

	1 級	2 級	4 級	5 級	6 級	合 計
男	0	0	0	0	1	1
女	3	1	3	1	0	8
合 計	3	1	3	1	1	9

7 各種会議

施設連絡会議	月 2 回
法人行事実行委員会	随時
ふれあいの里内防災担当者会議	〃
職員会議	〃
ふれあいの里内施設長会議	〃

8 災害防止対策

(人)

実施日	実施内容	参加者
7 月 23 日	ふれあいの里全施設 総合消防訓練 通報・避難・消火訓練を利用者・職員で行った。 ※全体では 119(利用者・訓練生 83/職員 36)	14
3 月 19 日	水害を想定した避難訓練 ・利用者に車イスに乗ってもらい、2 階へと垂直避難した。	16

9 職員研修

(人)

研修日	研修名	出席者
6 月 6 日	「障害者差別解消法について」法人内研修(オンライン)	全職員
6 月～8 月	「発達障害研修」法人内研修(ハイブリッド)	〃
7 月 26 日	「障がい児施設の虐待防止研修」法人内研修(オンライン)	〃
11 月 6 日	「人権同和問題企業啓発研修」法人内研修 (オンライン)	〃
11 月 11 日	「共に生きる認知症セミナー」(オンライン)	指導員
12 月 7 日	「摂津市人権を考える市民のつどい」	〃

12月16日	「虐待防止・不適切『支援』を防ぐ組織管理」法人内研修 (ハイブリッド)	全職員
2月28日	「『通いの場』事業人材育成フォローアップ講座」	指導員
3月2日	「切り絵講座」	〃

10 様々な感染症の対策について

高齢者の方が利用対象者であり、基礎疾患のある方も少なくないため、様々な感染症感染時の重症化リスクを回避するために、施設利用時のマスク着用のほか、玄関に非接触型温度計を設置し館内要所に手指消毒液を配置する等して、施設での感染症対策に努めた。今年度から、法人の感染対策委員会にも年1回参加して、感染症予防対策に努めた。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

6 摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」

1 概況

摂津市障害者職業能力開発センターは大阪府の特別委託訓練施設として昭和61年4月に開所して以来、障がい者の職業能力開発訓練施設として歩んできた。現在は身体障がい者および内部障がい者対象のOA実務科と知的障がい者対象の実務作業科の2科があり、それぞれ定員10名の1年間の職業訓練であるが、OA実務科が3名欠員の7名、実務作業科10名の17名で訓練を開始した。

令和6年度は、以下の取り組みを重点的に行った。

(1) 企画提案公募（公募型プロポーザル方式）

令和5年度契約から摂津市障害者職業能力開発センターを含む一部の訓練校を対象とした企画提案公募（公募型プロポーザル方式）が継続実施

(2) 職員の資質やスキルの向上、時代やニーズに合わせた支援方法の模索

(3) 地域や関係機関との連携を強化

(4) 専門性や資質の向上を図るため、引き続き職員研修の充実

(5) 職員発表の機会として、大阪府三島圏域地域別実践研修での実践報告・法人事業発表会では就労支援をテーマに実践報告を実施

(6) 実習生を受入れ

今年度も藍野大学の作業療法科3回生36人と交流や専門的な視点からアセスメント助言の機会

(7) 訓練環境の修繕

障害者能力開発助成金を有効的に活用しながら、雨漏りや扉などの各所修繕を行った。

2 職業能力開発訓練指導の状況

OA実務科	簿記、ワープロ、表計算、電子会計を中心に訓練を実施 リモート訓練やプレゼンテーション、SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）、オフィスアシスタント（事務補助）等
実務作業科	軽作業、オフィスアシスタント、木工、ビルクリーニング（清掃）、パソコン、園芸、洗車を中心に訓練を実施 社会性の向上を図るために、SSTやグループワークを取り入れた。

	○清掃技術向上のために敷地内の身障・老人福祉センターの清掃や地域清掃を実施 ○対人関係を良好に築くため、手話やスマイルエクササイズを実施 等
--	---

3 行 事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり行事を実施した。

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4月8日	入校式	せつつくすのき	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	入校式後、各科でホームルーム 実務作業科 41 期 10 人 OA 実務科 58 期 7 人
4月9日	オリエンテーション	〃	〃	入校オリエンテーション
4月15日 ～23日	個人面談	〃	〃	
5月7日 ～28日	保護者等懇談	〃	実務作業科 11 人 保護者 10 人	保護者の参観、懇談
5月17日、 24日、31日、 6月7日、7月 12日、19日、 26日、8月2日	藍野大学実習	〃	実務作業科 10 人	藍野大学作業療法学科3回 生 36 名来所、作業体験・ 交流会
5月25日	修了生交流会	〃	修了生 4 人、 茨木・摂津障害 者就業・生活支 援センター利用 者 10 人	修了生と就ボツ登録者の 交流イベント
6月22日	アビリンピック おおさか	ポリテク センター関 西	実務作業科 3 人	競技：製品パッキング
7月6日			実務作業科 7 人	競技：オフィスアシスタント・パソコンデータ入力・ビルクリーニング
7月10日	年金申請講演会	せつつくすのき	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人 保護者 5 人	井坂社会保険労務士事務所
7月10日	企業見学会	(株)かんでん エルハート	実務作業科 10 人 OA 実務科 1 人	就職活動として障害者雇用事業所を見学
7月17日		(株)カネカ		
7月23日		クボタワークス(株)		

8月7日	くすのき会	ニフレル 万博公園	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	外出・ランチ
10月23日、 24日	就職相談	せつつ くすのき	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人 保護者 10 人	各管轄職業安定所の担当 官との個別就職相談
11月30日	スポーツ フェスタ 2024	味舌体育館	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	法人行事に参加 保護者・家族 8 名見学
12月11日	企業説明・ 仕事体験会	せつつ くすのき	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	クボタワークス(株)来所 就職活動として障害者雇 用事業所を見学
12月25日	くすのき会	〃	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	クリスマス&忘年会
1月22日	身だしなみ 講座	〃	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	資生堂フレッシューズコ ース 2 人来所
2月10日	実務作業科 マラソン大会	淀川河川公 園鳥飼上地 区	実務作業科 10 人 修了生 2 人	マラソン大会 ソフトボール試合
3月18日	くすのき会	リーツァン ティン（豊 中市）、身老 人センター	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	ランチ・お別れ会
3月21日	修了式	せつつ くすのき	実務作業科 10 人 OA 実務科 7 人	実務作業科 41 期生 10 人 OA 実務科 58 期生 7 人 保護者 10 名、来賓 12 人

4 採用試験受験、職場実習

職業安定所、インターネット等からの情報を取り入れて、職場開拓・会社訪問・採用試験受験・職場実習をすすめ、就職活動を行った。ハローワーク等の関係機関との連携を強化した事により、新規の企業訪問や来所に繋がり、今後の就職先へと広げる事が出来た。

障がい者合同面接会

実施日	名 称	場 所	参加者
6月20日	高槻市障がい者合同就職面接相談会	高槻市生涯学習センター	OA 実務科
8月29日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立コミュニティ プラザ	〃

9月26日	大阪府障がい者就職面接会	マイドームおおさか	実務作業科 OA実務科
11月22日	茨木市就労支援フェア	茨木市役所	実務作業科 OA実務科
2月27日	大阪府障がい者就職面接会	マイドームおおさか	OA実務科
随時	ハローワークミニ面接会	ハローワーク梅田 ハローワーク茨木 ハローワーク枚方	実務作業科 OA実務科

5 就職状況

令和6年度の就職先事業所は次のとおり

(1) OA実務科 第58期生：5人

事業所名	所在地
(株)京都銀行	京都市
(株)ハウストゥ販売管理	〃
(株)ハウスビルシステムズ	茨木市

事業所名	所在地
アー克蘭ズ(株)	茨木市
(株)りそな銀行	大阪市

(2) 実務作業科 第41期生：9人

事業所名	所在地
近畿中央ヤクルト販売(株)	茨木市
(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市
(株)ニッセイ・ニュークリエーション はなてん工房	大阪市
ヤンマーシンバイオシス(株)	〃
(学)大阪医科薬科大学	高槻市

事業所名	所在地
チャレンジドオフィスせつつ	摂津市
(株)初田製作所	枚方市
(社福)慶徳会	茨木市
(株)ダスキン	吹田市

6 家庭等との連携

保護者及び関係機関に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力を得るため、次のように随時面談等を実施して連携を深めた。

実施日	科目名	保護者・支援者懇談内容
4月11日、15日	実務作業科	訓練生・保護者面談
4月25日～5月31日	実務作業科	訓練生職業上重度判定(大阪障害者職業センター)
5月7日～28日	〃	保護者訓練参観・懇談
10月23日、24日	〃	公共職業安定所就職相談会
11月21日	〃	保護者より苦情相談
1月～3月	〃	障害者就業・生活支援センター面談・登録

7 健康管理

① 食中毒・感染症予防対策

- スタンド式サーモグラフィ、非接触体温計、マスク、手洗い消毒液やアルコール消毒液を使用して感染予防を実施
- 訓練生・家族に注意文書の配布や掲示
- セコム安否確認サービスを利用して職員・訓練生の健康状態を把握
- 朝昼のアルコールによる消毒、部屋の換気、更衣室の人数制限、食堂の時間差利用等の対応
- 大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられているため、大阪複十字病院での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場 所
9月9日 ～13日	身体計測、血圧、 聴力、視力、尿検査、 胸部レントゲン	実務作業科 41期生 10人 OA実務科 58期生 7人	大阪府結核予防 会複十字病院

8 訓練生の状況（令和6年度在籍者）

(1) 手帳の所持者

①療育手帳（重複者1人）

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	7	3	10
女	0	0	1	1
合計	0	7	4	11

②身体障害者手帳（重複者 2 人）

（人）

級 性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	1	0	1	3	1	0	6
女	0	0	0	1	0	0	1
合計	1	0	1	4	1	0	7

③精神保健福祉手帳（重複者 1 人）

（人）

級 性別	1	2	3	合計
男	0	0	0	0
女	0	0	1	1
合計	0	0	1	1

(2) 通校状況

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
OA実務科	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
実務作業科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
合 計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
訓練日数	16	21	20	22	17	19	22	20	18	19	17	13	224

(3) 地域別

（人）

	O A 実 務 科	実務作業科	合 計
摂津市	0	3	3
茨木市	3	1	4
高槻市	4	3	7
豊中市	0	3	3
合 計	7	10	17

(4) 年齢別（入校時）

(人)

年 齢		～19 才	20 ～29 才	30 ～39 才	40 ～49 才	50 ～59 才	60 才～	合 計
O A 実務科	男	1	0	0	0	4	1	6
	女	0	0	0	0	1	0	1
実務作業科	男	8	1	0	0	0	0	9
	女	1	0	0	0	0	0	1
合 計	男	9	1	0	0	4	1	1 5
	女	1	0	0	0	1	0	2

(5) 入校幹旋職業安定所

(人)

職業安定所	茨木	池田	合計
O A 実務科	7	0	7
実務作業科	7	3	10
合計	14	3	17

(6) 通校の方法

(人)

方 法		電車 バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計
O A 実務科	男	0	1	4	1	0	6
	女	1	0	0	0	0	1
実務作業科	男	4	1	0	4	0	9
	女	1	0	0	0	0	1
合 計	男	4	2	4	5	0	15
	女	2	0	0	0	0	2

9 障がい者の多様なニーズに応じた委託訓練事業（作業習得科）

軽作業・清掃等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。令和6年度より、多様なニーズに対応できるよう、随時開校に変更しての実施となった。

訓練期間	随時 3 か月間（11 月 1 日～1 月 31 日）
定 員	3 人
受 講 者	1 人
就 職 先	医療法人真摯会

10 各種会議

ケース会議	随時
カリキュラム会議	〃
就労支援会議	年 4 回
虐待防止マネージャー会議	随時
防災会議	〃
行事会議	〃

11 防災訓練

（人）

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
7 月 23 日	火災	ふれあいの里総合消防 訓練 通報・避難・消火訓練 協力：摂津市消防本部	訓練生 16、職員 5 〔ふれあいの里全体 119〕 〔利用者 83、職員 36〕
9 月 3 日	地震	大阪 880 万人訓練 地震を想定した「大津波 警報発令」緊急地震メール	訓練生 17、職員 6
11 月 13 日	地震	避難訓練 大阪で震度 5 発生想定訓練	訓練生 16、職員 5

1 2 職員研修

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月24日	摂津市ハラスメント研修	摂津市役所	摂津市	所長
5月10日	J S N実践報告会	オンライン	J S N	所長、 指導員
5月17日	摂津市新任課長級昇格者 研修	摂津市役所	摂津市	所長
5月29日	多様性時代を生きるための 組織文化の形成～西成高校 の再生とその軌跡	摂津市立コミュニ ティプラザ	摂津地区人権企業 連絡会	〃
6月4日	障害者差別解消法に係る 説明会	オンライン	摂津宥和会	全職員
6月12日、 7月17日、 8月5日	発達障害者研修	身老センター、 オンライン	〃	〃
6月13日	医師から学ぼううつ病の正し い理解	オンライン	大阪府社会福祉協議 会	指導員
6月28日	就労支援セミナー 「働くを考えよう」	かしのき園	J S N	所長
7月3日、 8日	障がい者児施設の虐待研修	オンライン	摂津宥和会	全職員
7月23日	基礎からより深くまで発達 障がいの理解と支援を学ぶ	摂津市立コミュニ ティプラザ	摂津市人権協会	指導員
7月25日	摂津市副主任級ファシリ テーション研修	摂津市役所	摂津市	〃
8月2日	就労支援における発達障害 者支援の現在地	新大阪丸ビル新 館	J S N	所長
8月17日	荒野に希望の灯をともし	摂津市民文化ホ ール	摂津市	〃
8月19日	労務管理研修	摂津市役所	〃	〃
8月26日	メンタル不調による離職に ついて	〃	摂津地区人権企業連 絡会	〃
8月26日～ 29日、9月 3日、4日	訪問型職場適応援助者 養成研修	三ノ宮コンベン ションセンター	全国就業支援ネット ワーク	指導員

8月30日	能力開発施設連絡会	北海道はまなす 食品能力開発セ ンター	全国就業支援ネット ワーク	所長
9月7日	大阪府三島圏域地域別 実践研修「高次脳機能障害 の理解」	愛仁会リハビリ テーション病院	大阪府三島圏域 地域リハビリテーシ ョン連絡会	〃
10月18日、 21日、23日	就労支援基礎講座	クロスパル高槻	高槻障がい者就業・ 生活支援センター	指導員
10月28日	定例研究・研修会	オンライン	全国就業支援ネット ワーク	所長
11月6日 ～11日	人権研修 職場のハラスメ ント	〃	摂津宥和会	全職員
11月16日	ジョブジョイントおおさか 実践報告会	新大阪丸ビル新 館	社会福祉法人 北摂杉の子会	所長
12月7日	摂津市人権を考える市民の 集い「老いと人権」	摂津市民文化ホ ール	世界人権宣言 摂津連絡会	〃
12月16日	虐待防止・不適切「支援」 を防ぐ組織管理	身老センター、 オンライン	摂津宥和会	全職員
12月20日、 21日	総合リハビリテーション 研究大会	千里ライフサイ エンスセンター	日本障害者リハビリ テーション協会	所長
1月9日	就労選択支援研修	クロスパル高槻	高槻障がい者就業・ 生活支援センター	〃
1月15日	障害者虐待防止研修	摂津市立コミュ ニティプラザ	摂津市障害者地域自 立支援協議会	所長、 指導員
1月24日	障害者雇用支援セミナー	かしのき園	茨木市立障害者就労 支援センター	所長
1月25日	症例検討会「高次脳機能 障がい」	愛仁会リハビリ テーション病院	三島圏域地域リハビ リテーション連絡会	〃
3月4日	能力開発施設連絡会	なごや職業開拓 校	全国就業支援ネット ワーク	〃

1 3 検定試験合格者

(人)

実施日	検定名	科目名	合格者
8月1日、 9日	日本商工会議所 簿記初級	OA 実務科	6
8月1日	日本商工会議所 簿記3級	〃	1
3月6日	電子会計実務検定 3級	〃	2
10月28日、 11月7日、 18日	日本商工会議所 PC 検定（文書作成）3級	〃	6
2月20日 12月10日 17日	日本商工会議所 PC 検定（文書作成）2級	〃	1
	日本商工会議所 PC 検定（データ活用）3級	〃	6
12月17日	日本商工会議所 PC 検定（データ活用）2級	〃	1
12月19日、 24日、1月29 日、2月20日	日本商工会議所 PC 検定（プレゼン資料作成）3級	〃	6
1月29日	日本商工会議所 PC 検定（プレゼン資料作成）2級	〃	2
2月16日	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定4級	OA 実務科 実務作業科	9
	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定3級	実務作業科	2
	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定準2級	〃	1
	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定2級	〃	1
2月23日	情報処理技能検定試験 表計算4級	〃	1

1 4 訓練生の募集活動及びPR活動

訓練生の募集活動としては、公共職業安定所、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対する積極的なPR活動に努めた。また支援学校、企業、放課後等デイサービス等の福祉サービスからの施設見学、大学生の実習（藍野大学作業療法学科）を積極的に受け入れた。

実施日	P R 事業	主 催	内 容
6 月 13 日、 7 月 1 日、 11 月 7 日、 12 月 4 日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪市	障がい別に府下の障害者職業訓練校の 訓練内容について関係機関・学校・個 人に説明会を実施
5 月 22 日、 10 月 16 日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	大阪府	募集時期に合わせて各訓練校の内容・ 特色等の説明会を実施

1 5 応募生職業評価選考試験

令和 7 年 4 月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

(人)

実施日	科目名	対象者	募集	応募	合格者
12 月 6 日	実務作業科	知的障がい者	10	6	6
1 月 30 日				1	1
3 月 31 日				3	2
2 月 7 日	O A 実務科	身体障がい者	10	7	7
3 月 7 日				5	3

1 6 令和 7 年度大阪府障がい者特別委託訓練事業にかかる大阪府公募型プロポーザル 選定

公募開始	令和 6 年 5 月 1 3 日 (月)
提案書提出締切	令和 6 年 6 月 1 1 日 (火)
選定委員会	令和 6 年 6 月 2 4 日 (月)
契約締結	令和 6 年 7 月 2 5 日 (木)
事業開始	令和 7 年 4 月 1 日 (火)
事業終了	令和 8 年 3 月 3 1 日 (火)

※7 月 9 日(火)に選定結果の発表があり、令和 7 年度の運営継続が決定

1 7 アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者就労に対する理解を深めるため、地域の
就業・生活支援センターと連携しながら就職先を訪問し、就労状況の把握を行い、事業

所への相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を随時受け付け対応した。

1 8 地域・関係機関との連携

摂津地区人権推進企業連絡会	年 3 回
茨木支援学校運営協議会	年 3 回
全国障害者就業支援ネットワーク 能力開発施設部会	年 4 回
おおさか人材雇用開発人権センター 通常総会	年 1 回
三島ブロック進路指導関係連絡会	年 3 回
摂津市就労支援ネットワーク	年 3 回
能力開発施設意見交換会	年 12 回
三島圏域地域別実践研修事務局会議	年 5 回
法人内就労支援会議	年 4 回

1 9 修了生アンケートの実施

○各科ごとに訓練カリキュラム改善のため、満足度調査を実施した。

○大阪府より、SNS の利用・認識に関するアンケート調査が行われた。

2 0 新型コロナウイルス感染症等の発生に伴う影響

引き続き、感染防止対策に努めながら通常訓練を実施した。トイレに便座除菌ディスプレイを購入する等の感染対策を心がけ、感染症に罹患する訓練生も 12 月中旬頃より複数名いたが、施設全体に感染拡大することは無かった。企業見学会やくすのき会の外出・外食も予定通り実施することが出来た。就職活動は、職場実習・見学が増加傾向にあり、新規事業所を含めて複数の実習や見学に繋がった。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

7 摂津市立第1児童センター

1 概況

令和6年度は年間34,584名の来館者数、1,940枚の使用証発行枚数であり、1988年開館以降の最多数であった。これは令和5年度から2年連続の記録更新となった。令和6年度新規事業である「ランドセル来館事業」と乳幼児親子プログラム「てちてちくらぶ」が好調であったことも要因の一つとして考えられる。

昨今の社会情勢として令和5年度にこども家庭庁が発足、『こどもまんなか社会』に向けて従来の児童館の特性であった『拠点性』『多機能性』『地域性』に加え、年齢や発達の程度に応じて、こどもの意見を尊重し、その最善の利益が優先して考慮されるようこどもの育成に努め、『居場所』としての機能強化が求められている。

(1) 居場所機能の強化

①「こども Do まんなかプログラム」に参画

こどもたちが意見を出し合い、具現化するイベント『おばけやしき』を開催した。現在の利用児である小学生だけでなく小学生の時に利用していた中学生・高校生・大学生もボランティアとして参加した。当日は雨模様であったがたくさんのこどもたちが来館し、楽しいイベントとなった。

②「ランドセル来館事業」「ランチタイム事業」

年間通して実施して留守家庭児童にとっての居場所となり、保護者にとっても安心できる場所を提供した。

③「てちてちくらぶ」

生後1ヶ月から参加できる乳児親子プログラムを3期に分けて実施。赤ちゃんだけでなく、保護者にとっても楽しく過ごせる場所としての機能を果たした。

④ギネス世界記録挑戦

見事3年連続達成の快挙を成し遂げ、月間あそびも含めてこどもたちがあそびを通して様々なことに挑戦し、達成感を得ることで喜びにもつながった。

(2) 情報発信

SNS については LINE 配信を増やし、週予定や行事の案内等を行った。また Instagram についてはストーリーズ等も活用し、魅力的な発信につなげた。

2 事業の実施状況

(1) 年間行事

(人)

実施日	行事名	内 容	定 員	参加者
4月27日	児ーセンまつり	模擬店、ゲームコーナー、フリーマーケット、手作りおもちゃコーナー等	—	3,623
7月22日	小学生とあそぼう	「赤ちゃんと遊びたい」という要望から実施。お店やさんごっこに乳幼児親子も参加	—	47
7月29日	夏まつり	夏のイベントとして。遊びコーナーやこどもフリーマーケット等（一中校区地域連携事業）	—	458
7月31日	多世代交流会 （ふれあいの里）	ふれあいの里身老センターを会場とし、多世代交流事業。リコーダークラブ・けん玉クラブの出演	—	12 （児童センター）
8月23日、24日	こども喫茶	こどもスタッフが企画・運営する、ジュースやお菓子の喫茶コーナー	—	120
8月24日	おおそうじ	こども達と一緒に館内のおおそうじイベント。	—	17
8月27日	乳幼児ウォーター パラダイス	館全体を使用した乳幼児向けのイベント。園庭での水遊びも実施	—	90
9月28日 10月13 ～14日	Nature くらぶ （全3回）	自然体験事業。こども達が意見を出し合い、役割分担して自分達で作る宿泊キャンプ	16	17 （延べ51）
9月14日	お月見	講師による天体観察後、民生児童委員と月見団子作りを実施（夜の行事）	60	56
10月29日	ハロウィンランド	乳幼児親子対象のイベント。仮装をして写真撮影・パネルシアター等ハロウィンイベント	—	91 （46組）
11月1日	こども Do まんな かプログラム ～おばけやしき～	「こども Do まんなかプログラム」に参画。企画～準備・運営をこども達が取り組む。	—	52

12月12日	乳幼児 クリスマス会	乳幼児親子のクリスマス会。劇 やシアター、こども達によるダ ンス等	50組	98 (49組)
12月16日	クリスマス会	1部：クリスマスキャスト・リ コーダークラブによるクリスマ スショー 2部：キャンドルサービス等ク リスマスパティー	1部：－ 2部：60	1部：100 2部：59
12月28日	みんなであそぼう &おおそうじ	こどもスタッフ企画の遊びと館 内のおおそうじイベント	－	26
1月4日	書き初め	大きな紙に抱負や好きな言葉を書 く。15日まで館内に掲示	－	23
2月3日	節分	節分にちなんだクイズや豆まき を実施	－	21
2月22日	Jステージ	けん玉クラブやリコーダークラ ブの発表とペリカンたまごによ るステージ等	－	222
3月11日	乳幼児ランド	館全体を使用した乳幼児向けの 遊びイベント。消防署員立ち合 いの消防総合訓練実施	－	85 (42組)
3月26日、 27日	お別れサロン	こどもスタッフ企画。こどもス タッフが店員となり、ジュース やお菓子を友達と話しながら食 べることが出来るイベント	－	143
3月31日	お別れお楽しみ会	6年生が参加する最後の行事、 参加者全員で遊ぶ。	－	43

(2) 教室活動

専門講師を招いての教室活動の他、利用者のニーズに合わせて季節のクラフトやクッキングを実施した。

(人)

実施日	行事名	内 容	定 員	参加者
5月11日	母の日クラフト	革のキーカバー作り	20	20
6月20日	父の日クラフト	革のトレイ作り	20	20
7月20日、 23日	夏休みクラフト	風鈴作り	30	31
12月7日	クリスマスクラフト	ボンボンツリー作り	20	20
2月8日	バレンタインチョコ作り	チョコレート作り	24	24

(3) その他の事業

「〇〇Day」・・・無料で誰でも気軽に参加できるイベント

(人)

あそび名	回数	延べ参加者
クラフト Day	2 回	28
あそぶ Day (実習生企画)	3 回	90

(4) 月間あそび・・・毎月 1 日～20 日で一つの遊びの記録に挑戦した。

(人)

実施日	実施内容	備 考	延べ参加者
4 月～3 月 (7、8 月は未実施)	月ごとに遊びを設定し、月間を通してチャンピオンを競う。年間ランキングで「あそびキング」を決定	SNS にて見本動画を投稿	1,079

(5) 定例行事活動

登録制の乳幼児親子プログラムである「PukuMuku」「ひよこちゃんよっといで」「わくわくパーク」は事前申込不要で実施した。

(人)

行 事 名	実施回数	延べ参加者
P u k u M u k u 6 ヶ月～2 歳児	35 回	824
ひよこちゃんよっといで 3 歳児～	26 回	505
わくわくパーク	39 回	1,213
乳幼児親子プログラム移動児童館(別府コミュニティセンター)	5 回	55
保健師、作業療法士、理学療法士、心理士、栄養士による講座・座談会	5 回	136
トランポリンの日	12 回	829
けん玉認定会(移動児童館含む)	15 回	684

(6) クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、それぞれ大会や交流試合、市内のイベントへの出演等、対外活動も積極的に行った。「おもしろくらぶ」については大阪人間科学大学こども教育学科と協働、回数を 10 回に増やしプログラムの充実を図った。0 歳児向けの親子プログラム「てちてちくらぶ」を新しくスタートした。

(人)

ク ラ ブ 名	期間・活動日・活動日数	部員数	延べ参加者
けん玉クラブ(前期)	4月4日～9月26日 木曜日 22回	16	305
〃 (後期)	10月3日～3月6日 木曜日 23回	17	290
卓球クラブ (前期)	4月5日～9月27日 金曜日 21回	15	286
〃 (後期)	10月4日～3月21日 金曜日 20回	15	255
リコーダークラブ (前期)	4月6日～9月28日 土曜日 20回	11	213
〃 (後期)	10月5日～3月29日 土曜日 22回	11	219
クリスマスキャスト	10月5日～12月21日	17	256
おもしろくらぶ	6月21日～10月4日 金曜日 10回	18組	338
てちてちくらぶⅠ期	6月13日～7月11日 木曜日 5回	11組	80
てちてちくらぶⅡ期	10月24日～11月21日 木曜日 5回	9組	86
てちてちくらぶⅢ期	2月6日～3月6日 木曜日 5回	8組	66
こどもスタッフ	4月1日～3月31日 計 23回	10	200

(7) 対外活動

①けん玉クラブ

文部科学大臣杯けん玉道選手権大会（南関西予選会：大阪・奈良・和歌山）においてクラブ員が入賞。市内イベントのこどもフェスティバルに参加

②リコーダークラブ

こども文化祭・ウィズせつつフェスタ・スポーツフェスタ 2024 へ出演

③卓球クラブ

京都西京極児童館との交流試合を実施

(8) ランドセル来館事業・ランチタイム事業

令和5年度に施行実施したランドセル来館事業、ランチタイム事業について年間を通して本格実施した。年度途中の保護者就労により学童に入室できなかった児童や4年生になり学童を退出した児童が登録し利用した。

(人)

事業名	内 容	登録者数
ランドセル来館事業	保護者の就労等で帰宅後留守である放課後児童の安全確保を目的とし、クラブ活動に参加する時間が確保できない学童児に対し登録を行うことで放課後に学校から直接来館できるようにする事業	26
ランチタイム事業	昼食時の孤食対策を目的として昼食時間に保護者の就労などにより留守となる家庭の児童が児童センター内で昼食をとることが出来る事業	16

3 使用状況

(人)

月	個人使用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	6,199	26	6,225	25	249
5	2,328	61	2,389	24	100
6	2,668	71	2,739	25	110
7	3,729	70	3,799	26	146
8	3,027	49	3,076	26	118
9	2,244	66	2,310	23	100
10	2,382	68	2,450	26	94
11	2,529	61	2,590	24	108
12	2,182	96	2,278	24	95
1	1,831	66	1,897	23	82
2	1,824	78	1,902	22	86
3	2,866	63	2,929	25	117
計	33,809	775	34,584	293	118

※特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

4 年齢別使用証交付状況

(枚)

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
4	52	87	41	58	69	107	66	90	570
5	20	36	7	18	10	9	11	24	135

6	20	40	20	13	16	10	11	8	138
7	7	19	108	90	93	19	21	19	376
8	10	20	37	34	23	19	15	4	162
9	18	12	30	15	25	8	4	6	118
10	26	9	6	6	1	3	3	1	55
11	14	6	7	8	8	6	2	3	54
12	9	9	64	56	50	0	2	2	192
1	6	3	0	6	4	3	5	4	31
2	12	10	6	3	1	1	1	0	34
3	7	8	17	8	14	11	8	2	75
合計	201	259	343	315	314	196	149	163	1,940

5 学校別使用証交付状況

(枚)

月	摂津	味舌	三宅柳田	その他	合計
4	293	80	45	13	431
5	48	9	19	3	79
6	38	16	23	1	78
7	40	33	28	249	350
8	22	9	10	91	132
9	15	11	10	52	88
10	11	8	1	0	20
11	10	7	5	12	34
12	54	115	1	4	174
1	10	4	1	7	22
2	9	3	0	0	12
3	15	8	11	26	60
合計	565	303	154	458	1,480

6 ボランティア受け入れ状況

児一センまつりをはじめ大きなイベントでは地域の方や近隣大学の学生ボランティアが参加した。また日常的に中学生・高校生ボランティアも積極的に受け入れ、こどもと

の関わりが持てるようにした。新規事業のてちてちくらぶについても定例的にサポーターとして受け入れ、プログラムの充実を図った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回 数	18	10	15	16	10	12	16	13	13	11	12	20	166
活動人数	94	19	29	56	16	38	28	27	34	18	29	45	433

7 個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。虐待や気になるケースは関係機関に連絡等を行い、連携を図った。

8 職員研修

研修日	研修名	開催場所	主催	職種
4月23日	子育てに前向きに取り組む方法	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市	児童厚生員
6月4日	障害者差別解消法にかかわる説明会	オンライン	内閣府	全員
6月12日 7月17日 8月5日	発達障害研修	動画視聴	摂津宥和会	〃
6月16日	トリプルP ジャパン研究大会	神戸市灘区文化センター	トリプルP 前向き子育て大阪、神戸連合	児童厚生員
6月下旬	障がい児者施設の虐待防止研修	動画視聴	摂津宥和会	全員
8月19日	労務管理研修	摂津市役所	摂津市	児童厚生員
9月3日 ～6日	児童厚生員等基礎研修会	大阪市	児童健全育成推進財団	〃

9月21日 ～22日	防災士養成講座	大阪公立大学	大阪公立大学	〃
9月26日	人権研修～SNSにおける 人権課題～	大阪市 HRC ビル	大阪府人権協会	〃
10月10日	子育て講座～赤ちゃんにも 家族にも優しい眠りの育て 方～	摂津市エンゼルひ ろば	摂津市	〃
10月21日	子育て講座～関わることの 大切さについて考える～	高槻市子育て支援 センター	高槻市	〃
10月25日	人権研修～子どもの権利と 人権課題～	大阪市 HRC ビル	大阪府人権協会	〃
11月15日	子育て講座～親子であそぼ うわらべうた～	摂津市立別府コミュ ニティセンター	摂津市	〃
11月22日	人権・同和問題企業啓発講 座『職場のハラスメント対 策』	動画視聴	人権・同和問題 企業啓発講座実 行委員会	全員
12月10日	子育て講座～心理士さん教 えて！How to 赤ちゃん の育ち～	摂津市 かるがも広場	摂津市	児童厚生 員
12月17日	職員意識改革研修	摂津市役所	〃	〃
12月下旬	虐待防止研修	動画視聴	摂津育和会	全員
1月20日 1月29日 2月6日	インスタグラム勉強会	オンライン	Face to FUKUSHI	児童厚生 員
1月24日	カスハラ対応研修	摂津市役所	摂津市	〃
2月9日	ヤングケアラーをきっかけ に考える『みんなの居場 所』	大阪府立男女共同 参画・青少年セン ター	大阪府	〃
2月15日 ～16日	第19回全国児童館・児童 クラブ大会えひめ	松山市総合コミュ ニティセンター	愛媛県児童館連 絡協議会、全国 児童厚生員研究 協議会他	〃
2月21日	全国子どもの健全育成リー ダー養成セミナー	オンライン	児童健全育成推 進財団	〃

2月27日	ヒューマンセミナー『精神障がい理解を深める』	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市	施設長
3月7日	児童厚生員一級特別セミナー『児童館におけるこどもの居場所づくりのトレンドを知る』	大阪人間科学大学	児童健全育成推進財団	児童厚生員
3月18日	こども性暴力防止セミナー	オンライン	こども家庭庁	〃

9 実習生受け入れ

(人)

学校名	期間	参加者
摂津市立第四中学校生	2日間	2
大阪健康福祉短期大学子ども福祉学科	10日間	2
大阪人間科学大学人間科学部子ども教育学科	10日間	1
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	2週間、1か月	2

10 運営委員会

(人)

	実施日	内 容	参加者
第1回	10月2日	委嘱状交付、事業報告、決算概要、近況報告、質疑応答	3
第2回	3月26日	事業計画、予算概要、近況報告、質疑応答	2

11 避難訓練

全来館者を対象にして火災・地震想定避難誘導消火訓練を毎月1回実施した。

3月には消防総合訓練として市消防隊員による講話と消防車見学を実施した。

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加数	34	18	33	46	28	43	18	47	45	54	57	88	511

1 2 子ども食堂

法人事業として運営委員会を組織して、別府コミュニティセンターで子ども食堂「みんなで Dinner」を実施。月毎に法人各施設が企画・運営を行い、定員 30 名で 11 回実施（8 月は悪天候で中止）して年間延べ 295 人の参加があった。

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

8 摂津市障害者総合支援センター

I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

1 概況

(1) 令和6年度の相談支援事業は重点目標として、以下3点に取り組んだ。

- ① 「基幹相談支援事業、障害者相談支援事業、計画相談支援（市指定）、地域相談支援（府指定）の事業継続」
- ② 「相談支援専門員としての知識・サービスの質の向上」
- ③ 「ICT・AI技術が活用できる事務業務と支援の模索を行い、事務のスリム化・相談業務の効率化の検討」

(2) 事業については、以下を継続して実施した。

- ① 摂津市指定「計画相談支援」
- ② 摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」
- ③ 大阪府指定「地域相談支援」
- ④ 摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」
- ⑤ 「大阪府地域生活促進アセスメント事業」の委員委嘱「大阪府地域生活促進パートナー」
- ⑥ 摂津市委託「障害支援区分認定調査」
- ⑦ 会議室の運営

2 事業の状況

(1) 計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）

サービス等利用計画作成	367 人
モニタリング	累計 1,186 回（月平均 98 人）

※遠方の施設やグループホームへ入所している方もいるためモニタリング実施場所は、大阪府域のみならず兵庫県や京都府の施設など広範囲に渡った。

(2) 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい者（身体・知的・精神等）である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい者（主に発達障がい）の継続相談も受けた。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡があった。

(障害者相談支援事業) 相談の内訳と件数

(件)

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	1,071	12	279	84	3	170	83	64	33	10	85	78	1,972

(事業参加)

事業名	主催者	参 加
エアロビクスダンス教室	摂津市障害者総合支援センター	利用者 14 人、家族・支援者 35 人
風船バレーボール大会	摂津市、摂津市身体障害者福祉協会	審判として参加
スポーツフェスタ 2025	摂津宥和会	スタッフとして参加

(3) 地域相談支援

① 地域移行支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談

対象者	2 人
実施状況	完了 1 人、継続中 1 人

※2 名とも知的障害の入所施設からの地域移行

② 地域定着支援

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急事態において相談
※地域定着支援は、対象者（支給決定者）はいなかった。

(4) 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

- ① 自立支援協議会全体会の活性化に向けた取組み
- ② 相談支援部会の会議構成の組み直し
- ③ 主任相談支援専門員による運営会議の実施
- ④ 経験の浅い相談支援専門員へのフォローアップ研修
- ⑤ 虐待防止研修や意思決定支援研修

- ⑥包括支援センターとの合同研修 等を実施し、市域における相談支援専門員の質の向上や顔の見える関係づくりなどを行った。

(件)

種 別	略 称	件数
摂津市自立支援協議会	協議会	61
各支援学校主催会議や進路相談等	学校	10
相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	助言等	126
地域移行関係	地域移行	8
各種ネットワーク会議等	ネットワーク	7
支援困難事例や初期相談等の個別支援、調整等	総合相談	83
成年後見利用支援	成年後見	1
研修講師、研修受講、研修企画、新規事業所見学、市民団体への助言等	その他	26
(合計)		322

(5) 大阪府地域生活促進アセスメント事業

令和 6 年度から 3 か年の大阪府の地域生活支援事業。大阪府地域生活促進パートナーとして参加。障害者支援施設からの地域移行をさらに促進し、入所待機者を解消するため各圏域から選抜されたパートナーと大阪府で協働しマニュアルなどのツール作成等を行っている。

(6) 障害支援区分認定調査

障害福祉サービス（介護給付費）の支給にあたり、摂津市から障害支援区分認定調査員の委託を受ける。

障害支援区分認定調査	115 件
------------	-------

(7) 会議室(貸室)の運営

市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

貸室登録団体は 13 団体	令和 6 年度利用実績回数は 7 回
---------------	--------------------

(8) その他

①ICT・AI 技術の活用

茨木・摂津就業・生活支援センターと共に、業務の効率化やハラスメント対策の一環として音声案内、通話の録音、スケジュール共有のアプリ等の導入に向けて準備

②カスタマーハラスメントマニュアルの作成

3 研修（人材育成）

日付	内容	場所	主催	参加者
4月17日	初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	施設長、相談支援専門員2
4月24日	ハラスメント研修	市役所講堂	摂津市	施設長
5月16日	会計研修	摂津市障害者総合支援センター	摂津宥和会	相談支援専門員1、事務員1
5月17日	新任課長級職員研修	摂津市役所	摂津市	施設長
6月4日 5日	障害者差別解消法	オンライン	〃	相談支援専門員4
6月6日	障害者差別解消法に係る説明会（動画視聴）	摂津市障害者総合支援センター	摂津宥和会	施設長、主任
6月12日 21日 27日	発達障がい研修①（動画視聴）	〃	〃	施設長、主任、副主任、相談支援専門員3
6月25日	権利擁護研修（初任者）	エル・おおさか	大阪府	相談支援専門員1
6月26日	ロジカル伝達研修	摂津市役所	摂津市	〃 2
7月3日	初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	〃 2

7月3日 9日 19日 24日	障がい者虐待防止に向けた取組みについて～障がい者の人権を守るために～（動画視聴）	〃	摂津宥和会	施設長、主任、副主任、相談支援専門員 3
7月12日	令和6年度第1回地域自立支援協議会情報交換会	大阪府庁咲洲庁舎	大阪府	施設長
7月17日 8月1日 2日 3日 5日	発達障がい研修②（動画視聴）	摂津市障害者総合支援センター	摂津宥和会	施設長、主任、副主任、相談支援専門員 3
8月13日	発達障がい研修③（動画視聴）	〃	〃	〃
8月19日	労務管理の基礎知識	摂津市役所	摂津市	施設長、主任
9月19日	令和6年度地域生活拠点等の市町村意見交換会	大阪府庁新別館南館	大阪府	施設長
10月1日 18日 31日	大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン たかつガーデン	〃	主任
10月2日	初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	相談支援専門員
10月17日	高齢障害者支援研修	地域福祉活動支援センター—研修室	基幹相談支援センター・地域包括支援センター	相談支援専門員 2
10月29日 11月6日 12日 19日 26日	令和6年度大阪府主任相談支援専門員養成研修	オンライン エル・おおさか	大阪府	施設長

11月15日 ～19日	令和6年度人権研修 「職場のハラスメント対策」(動画視聴)	摂津市障害者 総合支援センター	摂津宥和会	全職員
11月26日 27日 12月19日 20日 1月22日 2月20日 3月18日	令和6年度大阪府相 談支援従事者初任者 研修	オンライン 大阪私学会館	大阪府	相談員
11月29日	大阪府集団指導(動画 視聴)	摂津市障害者 総合支援センター	〃	施設長
12月3日	令和6年度 第2回 障がい支援区分認定 調査員研修	オンライン	〃	相談員
12月16日 ～ 12月19日	虐待防止研修(動画 視聴)	摂津市立身体 障害者・老人 福祉センター オンライン	摂津宥和会	全職員
12月20日	難病児者への災害対 策支援研修会	いきいきプラ ザ	摂津市	相談支援専門員
1月15日	摂津市虐待防止研修	摂津市立コミ ュニティプラ ザ	〃	主任 相談支援専門員 相談員
1月16日	意思決定支援研修	〃	相談支援部会	〃
1月16日 20日	医療的ケア児等支援 者養成研修	大阪私学会館	大阪府	相談支援専門員
1月24日	カスタマーハラスメ ント研修	摂津市役所	摂津市役所	副主任

1 月 28 日	厚生労働省障害者地域生活支援体制整備事業オンライン研修	オンライン	厚労省	施設長
2 月 4 日	成年後見制度講座	地域福祉活動支援センター研修室	摂津市	相談員
2 月 27 日	精神障がい者への理解を深める	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人権協会	主任

※上記以外に、毎週木曜日に相談支援専門員のスキルアップを目的とした支援会議を実施

※「虐待防止・権利擁護」、「非常災害対策」については、法人事務局を参照

II 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

1 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は49名で、障がい種別にみると、身体障がい者が2名、知的障がい者が26名、精神障がい者が16名、その他（難病等）が5名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が21名で茨木市が28名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

令和6年度事業の重点施策を下記の通り実施した。

（1）国が求める基幹型の機能を担うための人材育成

- ①外部研修の受講や2週間に1回の内部会議の継続
- ②スタッフ内での随時の情報共有や定期的なケース会議の実施
- ③スーパービジョンを実施
- ④令和6年度より特定非営利活動法人全国就業支援ネットワークに加入

（2）関係機関とのネットワーク体制の充実

行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割を担った。

- ①摂津市障害者地域自立支援協議会委員
- ②茨木市障害者地域自立支援協議会委員
- ③摂津支援学校運営協議会委員
- ④とりかい高等支援学校運営協議会委員
- ⑤摂津就労支援ネットワーク会議座長

（3）サービスの質の向上

- ① 毎月第1、3土曜日の相談日の実施を継続
- ② サービスの質の向上をめざして支援方針や支援内容を明確化した当センター独自の個別支援計画やアセスメント表の様式を作成
- ③ 機関紙を年4回発行

(4) 中高年齢者の継続雇用に関する相談支援

令和6年度より、社会全体の高齢化に伴い、事業主から中高年齢者等の障がい者を継続して雇用する中で生じる様々な課題について、その都度相談できる窓口を求める声が年々強くなり必要な相談を実施した。

(5) その他

ICT・AI技術の活用

総合相談支援センターと共に、業務の効率化やハラスメント対策の一環として音声案内、通話の録音、スケジュール共有のアプリ等を令和7年度の導入に向けて準備を行った。

2 就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実施日	行事名	場所	内容
5月25日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	摂津市障害者職業能力開発センター	軽スポーツ大会(ボッチャ等) グループワーク
7月19日	〃	摂津市障害者総合支援センター	レクリエーション：時事クイズ（グループワーク）
7月23日	とりかい高等支援学校 職業相談	とりかい高等支援学校	就職希望の3年生の職業相談、就業・生活支援センター事業の内容説明
8月29日	摂津市障がい者 就職フェア	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障がい者合同企業 面接会
9月16日	摂津支援学校職業相談会	摂津支援学校	就職希望の3年生職業相談、 就業・生活支援センター事業 の内容説明
10月26日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	茨木市文化・子育て複合施設 おにクル	みんなで学ぼう～社会人のマナー（グループワーク）
11月22日	茨木市障がい者 合同就職面接会	茨木市役所	茨木市障がい者合同企業 面接会
1月23日	茨木支援学校ガイダンス	茨木支援学校	就業・生活支援センターの ガイダンスと利用登録
2月5日	とりかい高等支援学校/ 摂津支援学校ガイダンス	とりかい高等支援学校・摂津支援学校	〃
2月22日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	摂津市立コミュニティプラザ	皆でお好み焼きをつくって食べよう（グループワーク）

3 利用者の状況

(1) 地域別相談者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	278	108	169	15	570
茨木市	488	148	389	54	1,079
合計	766	256	558	69	1,649

(2) 新規相談者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	8	3	7	2	20
茨木市	18	1	20	15	54
合計	26	4	27	17	74

(3) 延べ相談件数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	722	71	254	39	1,086
茨木市	1,094	131	882	226	2,333
合計	1,816	202	1,136	265	3,419

(4) 市別利用登録者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	170	44	54	9	277
茨木市	304	62	154	30	550
合計	474	106	208	39	827

4 就職の状況

(1) 職場実習 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	14	0	1	0	15
茨木市	7	2	6	1	16
合計	21	2	7	1	31

(2) 就職者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	13	1	5	2	21
茨木市	13	1	11	3	28
合計	26	2	16	5	49

5 職員研修（人材育成）

実 施 日	研 修 名	主 催	場 所	参加者
6月5日	障害者差別解消法に係る説明会	内閣府	オンライン	全員
6月12日	発達障害研修①	摂津宥和会	〃	〃
7月17日	発達障害研修②	〃	〃	〃
7月30日	動画で学ぶ！障がい児者施設の虐待防止研修～より良い支援のために～	大阪府社会福祉協議会	動画視聴	〃
8月5日	発達障害研修③	摂津宥和会	オンライン	〃
9月7日	高次脳機能障がいの理解と社会資源について	三島圏域地域リハビリテーション連絡会	愛仁会リハビリテーション病院	就業支援担当者
11月18日	第45回人権・同和問題企業啓発講座	人権・同和問題企業啓発講座実行委員会	オンライン	全員
11月14日	日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会、相談支援部会合同研修会	一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会	大阪府社会福祉会館	所長
11月16日	働く力と働きたいと願う障害者に応える就労支援とは～就労選択支援事業がもたらす可能性と地域ネットワークの創造～	茨木市立障害者就労支援センターかしの木園	茨木市立障害者就労支援センターかしの木園	所長、就業支援担当者
11月29日	個人情報保護について	内閣府	オンライン	全員

12月13日 ～15日	2024年度第3回ダイバーシティ就労支援実践研修、就労支援フォーラム NIPPON2024	公益社団法人日本財団	・日本財団ビル ・新橋ビジネスフォーラム	就業支援担当者
12月16日	虐待防止・身体拘束等適正化研修	摂津宥和会	オンライン	全員
1月24日	カスハラ対応研修	摂津市	摂津市役所	就業支援担当者
2月5日	窃盗回避支援を学ぶ研修	大阪府立砂川厚生福祉センター（つばさ）	大阪府教育会館たかつガーデン	〃
1月16日	意思決定支援	摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	摂津市立コミュニティプラザ	〃
1月29日 ～31日	就業支援スキル向上研修	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	オンライン	〃
2月26日	一般就労・定着に向けた支援力向上研修	認定 NPO 法人 大阪障害者雇用支援ネットワーク	豊中市立文化芸術センター	〃
2月28日 ～ 3月1日	第11回障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム	特定非営利活動法人 全国就業支援ネットワーク	東京たま未来メッセ	〃
3月7日～ 8日	CEF2025～質の高い障害者雇用を考える会議～	CoferenceOfEmployment First 実行委員会	大妻女子大学 千代田キャンパス	〃

6 関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター運営会議	事業報告、事業計画、今年度の取り組みについて対面会議にて実施	年1回

大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会	○「障害者ビジネス、障害福祉サービス等報酬改定について」 ○「就労選択支援事業の最新情報」「就労の開始・継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業」 ○「就ボツとハローワークが連携した事業主支援について」 ○「地域の関係機関との連携強化のための取組み」	年 4 回
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会 A ブロック	「学び直し研修」 ○「ノーマル相談記録理システムりぼん 勉強会」 ○「生活支援から繋がる広がる支援ネットワーク」 ○「保護観察所の役割と関係機関との連携について」 ○「私の給与と年収の壁問題」	年 4 回
令和 6 年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック意見交換会	○事例発表「各センターの現状と課題」 ○厚生労働省説明「障害者雇用施策の現状と障害者就業・生活支援センターに求める役割」 ○意見交換会 (11 月オンライン会議で実施、幹事は兵庫労働局)	年 1 回
摂津市障害者地域自立支援協議会全体会	○摂津市地域自立支援協議会要綱改正 ○実務担当者会議からの報告 ○基幹相談支援センター等機能強化事業の事業報告 ○地域生活支援拠点等事業 ○摂津市障害者相談支援事業の報告 ○摂津市障害福祉計画等の実績について	年 1 回
摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	○各センター近況報告 ○部会・ワーキング報告 ○地域拠点等事業に関連する緊急対応の件数 ○その他 (偶数月に参加)	年 6 回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	○自立支援協議会方針 (案) ○茨木市障害者計画 ○障害福祉計画及び障害児福祉計画策定に係る報告 ○令和 5 年度協議会取組報告と令和 6 年度計画について ○令和 5 年度障害者相談支援事業実績報告及び令和 6 年度事業計画について ○茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について ○障害者相談支援体制の変更について ○社会資源ツールについて ○障害者当事者部会の取組について	年 2 回

茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	○障害者地域自立支援協議会関係課所管の主な事業について、 ○各部会・PTの報告 ○定例会メンバーからの報告 ○意見交換 ○自立支援協議会方針について (5月・10月オンライン開催、その他集合開催)	年6回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	○各機関からの状況報告 ○企業セミナーの実施 ○就労選択支援事業について 等 (集合開催5回)	年5回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会 コア会議	○就労支援部会の事前打ち合わせ・研修会の企画 ○意見交換 (オンライン会議)	年5回
大阪府立摂津支援学校運営協議会	年間テーマ「自己肯定感の高める教育をめざして」 ○学校経営計画、使用教科書、授業見学について ○学校経営計画の進捗状況、学校教育自己診断、授業力向上5か年計画について ○令和6年度学校経営計画 総括 ○令和7年度学校経営計画 (案) ○学校教育自己診断について ○令和6年度卒業生進路状況	年3回
大阪府立とりかい高等支援学校運営協議会	○学校経営計画、使用教科書選定、授業参観アンケート、学校いじめ防止基本方針、9期生進路状況、地域交流について ○授業見学、授業参観週間保護者アンケート、体育祭保護者アンケート、喫茶販売の授業のデジタル化、学校案内パンフレット、10期生進路状況、学校教育自己診断の実施について ○生徒保健委員会の活動/発表、学校祭来校者アンケート、授業参観週間保護者アンケート、10期生進路状況、学校教育自己診断集計結果と分析・考察、学校経営計画及び学校評価の年度末評価、学校経営計画について	年3回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	○各校より3年生の進路状況について ○各関係機関より報告・情報提供及び情報共有 ○その他連絡事項 (第1回吹田支援学校、第2回摂津支援学校)	年2回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議 (ミニ三島ブロック)	○各支援学校の進路進捗状況 ○各センターの近況 ○企業情報など情報共有 ○意見交換	年3回

令和 6 年度摂津市障害者虐待防止ネットワーク会議	○虐待対応状況報告「令和 5 年度障害者虐待の状況」 ○障害者の虐待防止に関する研修報告「障害児者の権利擁護と虐待防止」	年 1 回
摂津市就労支援ネットワーク会議	○各事業所見学会 ○近況報告	年 4 回

7 就業・生活支援センターの P R 活動

- 摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対して P R 活動に努めた。
- 摂津市商工会の会議に参加し、商工会員企業の方に対して当センターの説明及び事業主支援について情報提供・職場実習の受け入れをお願いした。
- 大阪府からの依頼で府立学校進路指導研修において、障害者就業・生活支援センターの説明と連携について講演した。
- 令和 6 年度障がい者雇用就労支援施策・制度勉強会に講師として参加
- 大阪府下の支援学校及び定時制高校等教員の参加もあり、グループワークで各学校の課題を聞きながら、就業・生活支援センターの役割及び利用方法等を P R した。